

## 平成20年3月期 決算短信



平成20年5月23日

上場会社名	株式会社中京医薬品	上場取引所	JASDAQ
コード番号	4558	URL	<a href="http://www.chukyoiyakuhin.co.jp">http://www.chukyoiyakuhin.co.jp</a>
代表者 (役職名)	代表取締役社長	(氏名)	山田 正行
問合せ先責任者 (役職名)	常務取締役管理統括本部長	(氏名)	辻村 誠
定時株主総会開催予定日	平成20年6月24日	配当支払開始予定日	平成20年6月25日
有価証券報告書提出予定日	平成20年6月25日		

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成20年3月期の連結業績 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期	8,111	△0.6	180	—	213	—	△272	—
19年3月期	8,157	△8.6	△81	△117.7	△48	△109.3	4	△89.8

	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益		自己資本 当期純利益率		総資産 経常利益率		売上高 営業利益率	
	円	銭	円	銭	%	%	%	%		
20年3月期	△27	02	—	—	—	3.9	—	2.2		
19年3月期	0	46	—	—	0.2	△0.9	—	△1.0		

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
20年3月期	5,401	2,141	2,141	39.6	212	05		
19年3月期	5,454	2,483	2,483	45.5	245	87		

(参考) 自己資本 20年3月期 2,141百万円 19年3月期 2,483百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
20年3月期	627	△87	△316	826				
19年3月期	△379	74	265	609				

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金			配当金総額 (年間)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	中間期末	期末	年間			
19年3月期	2	50	5	48	—	2.0
20年3月期	2	50	5	50	—	2.2
21年3月期 (予想)	2	50	5	—	26.6	—

### 3. 平成21年3月期の連結業績予想 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期 連結累計期間	4,293	4.1	155	—	159	—	88	—	8	73
通期	8,303	2.4	348	92.5	354	66.1	190	—	18	82

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 無
- (2) 連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更に記載されるもの）
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 有
- (注) 詳細は、17ページ「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 20年3月期 11,385,734株 19年3月期 11,385,734株
- ② 期末自己株式数 20年3月期 1,285,768株 19年3月期 1,283,344株

(注) 1株当たり当期純利益（連結）の算定の基礎となる株式数については、34ページ「1株当たり情報」をご覧ください。

(参考) 個別業績の概要

1. 平成20年3月期の個別業績（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期	8,075	0.2	191	—	227	—	△277	—
19年3月期	8,058	△8.3	△79	△116.5	△50	△109.3	△16	△127.1

	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期	△27	51	—	—
19年3月期	△1	62	—	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
20年3月期	5,383		2,136		39.7	211	52	
19年3月期	5,407		2,482		45.9	245	70	

(参考) 自己資本 20年3月期 2,136百万円 19年3月期 2,482百万円

2. 平成21年3月期の個別業績予想（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期 累計期間	4,292	4.9	145	575.5	149	402.0	77	—	7	71
通期	8,300	2.8	336	75.5	343	51.0	178	—	17	67

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

## 1. 経営成績

### (1) 経営成績に関する分析

#### (当期の経営成績)

当連結会計年度におけるわが国の経済は、サブプライムローン問題に端を発する米国の金融不安や米国経済の減速見通し、また原油をはじめとする原材料価格の高騰等により景気の先行き不透明感が強まり、景気の回復は非常に力強さを欠くものとなりました。

このような環境の中で、当企業集団は顧客満足度の向上を営業の現場でしっかり根付かせ、より一層お客様に「健康」と「幸福」をお届けできる企業を目指し、業績向上に努めるとともに、平成18年4月よりスタートした中期計画に基づいて積極的な営業政策を継続し顧客数の拡大に取組みながら経営基盤の強化にも取り組みました。当企業集団の中核事業であります配置販売業においては、上半期に8営業所を統廃合するなど一層の販売費及び一般管理費の削減に取り組みました。また新事業開発本部におきましては売水事業が前期比で24.9%増と大幅に伸長し明るい材料がある一方環境事業が前期比86.8%減となるなど厳しい状況が続きました。

そのような状況の中で全体として売上高は前期より微減となったものの経常利益が前期の赤字から213百万円の黒字に転じるなど、経費削減の効果は着実に現れました。しかし、過年度役員退職慰労引当金繰入額306百万円をはじめ特別損失400百万円を計上することとなったため、最終利益は当期純損失となりました。

当連結会計年度における連結売上高は8,111百万円（前期比0.6%減）、また経常利益は213百万円（前期は経常損失48百万円）、当期純損失は272百万円（前期は当期純利益4百万円）となりました。

#### (次期の見通し)

次期の見通しにつきましては、中国を中心としたアジア経済はしばらく堅調に推移すると予想されますが、原油等原材料価格の高騰や米国経済の減速に伴う世界経済への影響により景気の先行きは不透明感を増しており、国内においても円高や原材料価格の高騰により景気の先行きは楽観を許さない状況が続くものと思われま

す。このような状況の中で、当企業集団は、中核事業である配置販売事業においては、今期営業所の統廃合により築いた強固な財務基盤をより一層強化し経費節減に努めるとともに、中期計画に基づき、新たな顧客基盤の拡大のため、今期控えた営業所の出店も再度進めてまいります。

また拡大基調に乗り始めた売水事業におきましては、更なる顧客数と営業エリアの拡大を進め、第二の収益の柱に近づけるよう邁進するとともに、環境事業におきましては、在庫リスクを避け受託受注に徹しながら、早期の黒字化を目指し努力してまいります。

以上により平成21年3月期の連結業績につきましては、売上高8,303百万円（前年同期比2.4%増）、営業利益348百万円（前年同期比92.5%増）、経常利益354百万円（前年同期比66.1%増）、当期純利益190百万円（前期は当期純損失272百万円）を見込んでおります。

### (2) 財政状態に関する分析

当連結会計年度末の総資産は、5,401百万円（前期比1.0%減）、うち流動資産は2,652百万円（前期比3.3%減）となり、主なものは現金及び預金964百万円（前期比28.6%増）、棚卸資産859百万円（前期比26.5%減）であります。固定資産は2,749百万円（前期比1.3%増）で、主なものは土地1,497百万円（前期比同）、建物及び構築物534百万円（前期比15.6%増）、投資有価証券104百万円（前期比36.9%増）であります。

負債の合計は3,259百万円（前期比9.7%増）、うち流動負債は1,929百万円（前期比19.8%減）であり、主なものは支払手形及び買掛金666百万円（前期比12.0%増）であります。また固定負債は1,330百万円（前期比135.5%増）で、主なものは長期借入金797百万円（前期比166.2%増）であります。

また純資産は2,141百万円で、自己資本比率は39.6%、1株当たり純資産額は212.05円となりました。

#### 当連結会計年度のキャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、826百万円（前期比35.6%増）となりました。当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、627百万円（前期は営業活動による支出379百万円）となりました。これは主に、棚卸資産の減少額312百万円（前期比1633.7%増）及び役員退職慰労引当金の増加額323百万円によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、87百万円（前期は投資活動による収入74百万円）となりました。これは主に投資有価証券の取得による支出58百万円及び定期預金の預入による支出57百万円（前期比8.2%減）によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は、316百万円（前期は財務活動による収入265百万円）となりました。これは主に短期借入金の減少855百万円及び長期借入金による収入875百万円（前期比191.7%増）によるものであります。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成17年3月期	平成18年3月期	平成19年3月期	平成20年3月期
自己資本比率（%）	42.2	47.3	45.5	39.6
時価ベースの自己資本比率（%）	80.9	81.3	80.6	56.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	3.5	7.4	—	2.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	16.4	10.9	—	28.4

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

（注1）いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

（注2）株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

（注3）キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

（注4）有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当企業集団は、株主に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして認識しております。積極的な事業活動により企業価値の向上を図る一方で、今後の収益、財務体質、事業投資への対応を勘案しながら、株主重視の観点から株主還元施策に取り組んで参ります。配当に関しましては、安定的かつ継続的な配当の維持・向上を基本として、連結業績、中長期的な成長性、純資産配当率等を加味し総合的に判断して行う考えです。またそれに加えて株式分割に関しましては、一株当たり利益の増加等を鑑みながら機動的に実施し、還元水準の向上に努めてまいります。

(4) 事業等のリスク

当企業集団の経営成績や財政状態等に重要な影響を及ぼす可能性のあるリスクには以下のようなものがあります。当企業集団は、これらのリスク発生の可能性を認識した上で、発生の回避及び発生した場合の対処に努めております。

1. 配置販売事業について

当社は、常備配置薬・保健品・ドリンク・医療品・日用雑貨・宝飾その他の商品を一般家庭に対し配置販売並びに小売販売を行うとともに、これらの商品を同業他社・一般流通市場・フランチャイズ契約を締結した加盟店に対して卸売販売も行っております。また、ほとんどの当社取扱商品は自社ブランドとして当社規格に基づいて外部に生産委託しております。

当社の配置販売は、いわゆる「富山の薬売り」という伝統的商売形態を踏襲したものであり、一般家庭に救急箱を配置し、後日当社社員が定期的に顧客を訪問し、使用された医薬品等だけを売上とする方法であります。従って、当社社員の訪問による点検があるまでは、客先に配置された商品は当社の所有する委託商品となりますが、顧客が何時どれだけの商品を消費するかは予測が困難であります。

また、当社は顧客数の拡大と顧客満足の上を目指し、社員教育や倫理綱領の制定等に全社的に取り組んでおりますが、次のような事象が発生した場合には、当社の業績に悪影響を及ぼす可能性があります。

- ①新規顧客の開拓や開拓した顧客の継続取引先としての定着化に遅れが生じた場合
- ②顧客からのクレームや商品に問題が発生した場合の対応が不適切で、会社の信用低下を招いた場合。
- ③商品の劣化や期限切れが増加した場合。

2. 新規事業について

当企業集団は、「健康」と「環境」の両面に渡って社会に貢献できる企業を目指しISO14001（環境マネジメントシステム）の認証を取得するとともに、それぞれの分野において取り組むことを基本方針としておりますが、当企業集団が現時点で想定する状況に大きな変化があった場合には、当企業集団の業績等に重要な影響を及ぼす可能性があります。

①環境事業について

当社は、汚泥を分解する酵素を製造販売し、また、汚泥分解装置を食品メーカーや産業廃棄物処理業者等に販売しておりますが、当該事業の業績が今後計画通りに改善しない場合、平成16年4月に岐阜県美濃市に建設した酵素製造工場において、生産の遅れが生じた場合等には、当企業集団の業績に悪影響を及ぼす可能性があります。

②売水事業について

当社は、ウォーターサーバーを無料でレンタルし、ミネラルウォーターを販売しております。当社では当該事業において、生産物の徹底的な管理や品質向上をはかっておりますが、万一その生産物や生産プラントに問題が生じた場合には、当企業集団の業績に悪影響を及ぼす可能性があります。

3. 法的規制等について

当社は、医薬品の配置販売等を行うことから薬事法等の規制を受けており、下表の各都道府県の許可・登録・届出を必要とします。また、当社の小売販売は訪問販売のシステムを採用することから「特定商取引に関する法律」の規制を受けます。当社は法的規制等はもとより当社独自の社員教育を徹底し、遵法精神に則った事業展開を行っております。

許可・登録・届出の別	有効期限	関連する法令	登録等の交付者
医薬品販売業配置販売業許可	3年	薬事法	愛知県他各都道府県知事
医薬品販売業卸一般販売業許可	3年	薬事法	愛知県知事
管理医療機器販売業届出	無期限	薬事法	愛知県知事
劇物毒物一般販売業登録	3年	劇物及び毒物取締法	愛知県知事

4. 個人情報管理について

当社は、顧客に関する個人情報を多数保有しており、個人情報取扱業者に該当します。個人情報保護法施行に伴い当社では個人情報保護管理規程の整備に努め、従業員の情報管理に関する教育を行う等組織体制の整備と情報管理の運営に取り組んでおります。しかしながら、万一当社が保有する個人情報が漏洩した場合は、当社の信用低下を招き当企業集団の経営に悪影響を及ぼす可能性があります。

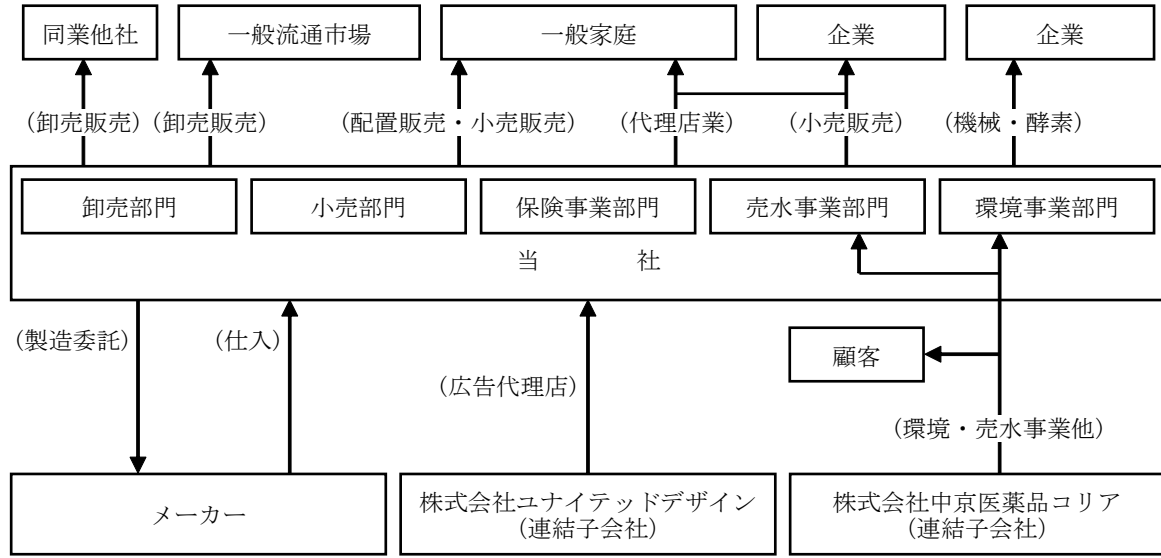
## 2. 企業集団の状況

当企業集団は、当社と子会社 2 社で構成されます。

当社では、常備配置薬・保健品・ドリンク・医療品・日用雑貨・宝飾その他の商品を一般家庭に対し配置販売並びに小売販売を行うと同時に、これらの商品をフランチャイズ加盟店を中心とする同業他社（以下同業他社という。）や一般流通市場へ卸販売も行っております。このように、当社の販売形態は、配置販売事業を中心とした小売部門・卸売部門と新規事業である売水事業部門・環境事業部門等に区分されております。また連結子会社である株式会社ユナイテッドデザインでは、広告代理店業を、株式会社中京医薬品コアでは環境事業及びウォーターサーバーの販売等を営んでおります。また、ほとんどの当社取扱商品は自社ブランドとして当社規格に基づいて外部に生産委託しております。

以上の事項を事業系統図によって示すと次の通りであります。

（事業系統図）



### 3. 経営方針

#### (1) 会社の経営の基本方針

当企業集団は、創業以来、医薬品の配置販売業を中心とした独自の事業展開を行ってまいりました。これは、一軒一軒を定期的に訪問しながら使用した分の代金を精算するという、日本の伝統的な医薬品の販売方法である「置き薬」を基本にしたものであります。この積み重ねにより、私たちは全国各地のお客様と直結したビジネススタイルを確立いたしました。さらに、お客様の個々の声を活かした、健康づくり、幸福づくりに役立つきめ細かな商品を世界的な視野で開発し、お届けしています。今後も、これらの事業の基本となる心の絆を大切にしたヒューマンネットワークを更に広げ、株式会社中京医薬品ならではの「ふれあい業」を充実させ、顧客及び市場からの評価を高め、収益力の向上と経営基盤の強化を図ってまいります。

#### (2) 目標とする経営指標

経営理念の「健康づくり、幸福づくり、人づくり」を基礎に、昨年度より始まった中期経営5ヵ年計画のテーマ『信親進2010「希望と豊かさへの挑戦」』に沿って、①経営理念と方針の周知徹底、②顧客満足の追及、③モラルの向上とルールの厳守、④営業拠点の拡充 ⑤社会貢献活動の推進の5つの目標を掲げました。この目標達成に向かって全社的に邁進して参ります。

#### (3) 中長期的な会社の経営戦略

##### ① 経営戦略の構造

当企業集団の経営戦略の基本は江戸時代より三百有余年の歴史を持つ「富山の薬売り」という伝統的商売形態（商品ご使用後に代金をいただく「先用後利」の考え）を踏襲しつつ、それに顧客第一主義の近代的手法を取り入れております。つまり、お客様の一軒一軒を定期的に訪問することで相互の信頼関係を築き、お客様とのコミュニケーションからワンツーンでのマーケティングを行い、その情報を商品作りに活かすことによって様々なお客様のニーズを満たす他社にはないオンリーワン商品の自社ブランドとして開発した商品を品揃えし、競争力の維持向上を図ることとあります。

##### ② 成長戦略

当企業集団は、配置販売業を中核事業としながら、近い将来、第2の収益の柱となる事業を開発する成長戦略を採っています。配置販売業は、直営拠点の増設により地域に密着した顧客数の拡大を図り、着実な売上と利益を確保するとともに、新事業開発事業部において、時代にマッチした健康・環境をコンセプトとする成長性の高い新規事業を開発し、現在ミネラルウォーター宅配事業や廃棄物資源化システムの企画販売等を推進いたしております。

#### (4) 会社の対処すべき課題

今後のわが国経済は、原油価格や原材料価格の高騰、米国経済の減速懸念など不透明な要因もあり、予断を許さない状況がしばらく続くものと思われまます。

このような状況のなか、当企業集団は主力事業である配置販売業において、前期より取り組んできた片寄った販売層の是正と幅広い顧客層の需要の掘り起こしにより、売上高の向上を目指しながら販売費及び一般管理費の抑制に努め、強固な収益基盤を築き、より一層の顧客満足の向上に努めてまいります。

また新事業開発本部においては、アクアマジック事業部で展開している売水事業を更に拡大させ、顧客の拡充に努め、第二の収益の柱にするべく鋭意邁進してまいります。また環境ソリューション事業に関しましては、営業努力を継続し早期の黒字化を目指すとともに、安定的に収益を生むビジネスモデルの構築を確立してまいります。

#### (5) 内部管理体制の整備・運用状況

当該事項につきましては、コーポレート・ガバナンスに関する報告書の「内部統制システムに関する基本的な考え方及びその整備状況」に記載しております。

#### (6) その他会社の経営上重要な事項

該当事項はありません。

#### 4. 連結財務諸表

##### (1) 連結貸借対照表

区分	注記 番号	前連結会計年度 (平成19年3月31日)		当連結会計年度 (平成20年3月31日)		対前年比
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	増減 (千円)
(資産の部)						
I 流動資産						
1. 現金及び預金		749,447		964,144		
2. 受取手形及び売掛金	※4	642,554		596,411		
3. 棚卸資産		1,171,869		859,744		
4. 繰延税金資産		73,202		130,668		
5. その他		122,419		115,611		
6. 貸倒引当金		△18,056		△14,555		
流動資産合計		2,741,437	50.3	2,652,024	49.1	△89,413
II 固定資産						
1. 有形固定資産	※1					
(1) 建物及び構築物	※2	462,502		534,854		
(2) 土地	※2	1,497,770		1,497,770		
(3) 建設仮勘定		68,600		—		
(4) その他		20,473		17,463		
有形固定資産合計		2,049,347	37.5	2,050,088	38.0	740
2. 無形固定資産						
(1) その他		32,033		28,378		
無形固定資産合計		32,033	0.6	28,378	0.5	△3,655



区分	注記 番号	前連結会計年度 (平成19年3月31日)		当連結会計年度 (平成20年3月31日)		対前年比 増減 (千円)
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	
3. 投資その他の資産						
(1) 投資有価証券		76,272		104,398		
(2) 長期貸付金		16,250		15,290		
(3) 前払年金費用		91,500		104,850		
(4) 繰延税金資産		21,025		31,876		
(5) その他		467,044		454,985		
(6) 貸倒引当金		△40,241		△40,354		
投資その他の資産合計		631,850	11.6	671,046	12.4	39,195
固定資産合計		2,713,232	49.7	2,749,512	50.9	36,280
資産合計		5,454,669	100.0	5,401,537	100.0	△53,132
(負債の部)						
I 流動負債						
1. 支払手形及び買掛金	※4	595,529		666,902		
2. 短期借入金		935,000		80,000		
3. 1年内返済予定長期借入金	※2	210,822		371,207		
4. 1年内償還予定社債		69,000		69,000		
5. 未払金		52,486		60,130		
6. 未払費用		272,628		266,714		
7. 未払法人税等		67,967		114,065		
8. 前受金		123		368		
9. 賞与引当金		124,900		184,000		
10. 返品引当金		—		23,741		
11. その他		77,504		93,652		
流動負債合計		2,405,960	44.1	1,929,782	35.8	△476,178

区分	注記 番号	前連結会計年度 (平成19年3月31日)		当連結会計年度 (平成20年3月31日)		対前年比 増減 (千円)
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	
II 固定負債	※2					
1. 社債		118,000		49,000		
2. 長期借入金		299,590		797,547		
3. 退職給付引当金		141,733		156,180		
4. 役員退職慰労引当金		—		323,790		
5. その他		5,560		3,560		
固定負債合計		564,883	10.4	1,330,077	24.6	765,193
負債合計		2,970,843	54.5	3,259,859	60.4	289,015
(純資産の部)						
I 株主資本						
1. 資本金		530,950	9.7	530,950	9.8	—
2. 資本剰余金	274,140	5.0	274,115	5.0	△25	
3. 利益剰余金	2,187,570	40.1	1,864,129	34.5	△323,441	
4. 自己株式	△547,264	△10.0	△548,047	△10.1	△783	
株主資本合計	2,445,396	44.8	2,121,146	39.2	△324,250	
II 評価・換算差額等						
1. その他有価証券評価差額金	27,018	0.5	10,472	0.2	△16,546	
2. 為替換算調整勘定	11,410	0.2	10,059	0.2	△1,351	
評価・換算差額等合計	38,429	0.7	20,531	0.4	△17,897	
純資産合計	2,483,825	45.5	2,141,677	39.6	△342,148	
負債純資産合計	5,454,669	100.0	5,401,537	100.0	△53,132	

(2) 連結損益計算書

区分	注記 番号	前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)		当連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)		対前年比 増減 (千円)		
		金額 (千円)	百分比 (%)	金額 (千円)	百分比 (%)			
I 売上高			8,157,528	100.0	8,111,356	100.0	△46,171	
II 売上原価			3,093,004	37.9	2,858,137	35.3	△234,866	
売上総利益			5,064,523	62.1	5,253,218	64.7	188,694	
III 販売費及び一般管理費								
1. 広告宣伝費		94,464			80,901			
2. 貸倒引当金繰入額		14,408			4,213			
3. 役員報酬		188,192			176,155			
4. 役員退職慰労引当金繰入額		—			17,530			
5. 給料・手当		2,515,579			2,399,811			
6. 賞与引当金繰入額		123,000			184,000			
7. 福利厚生費		414,368			422,873			
8. 退職給付費用		34,134			43,055			
9. 旅費交通費		137,319			133,903			
10. 通信費		56,324			47,399			
11. 交際接待費		35,180			31,649			
12. 減価償却費		38,899			42,528			
13. 賃借料		573,086			532,517			
14. 車輛運行費		206,149			210,522			
15. その他		714,512	5,145,620	63.1	745,170	5,072,234	62.5	△73,386
営業利益又は営業損失 (△)			△81,096	△1.0	180,984	2.2	262,080	
IV 営業外収益								
1. 受取利息		1,124			1,877			
2. 受取配当金		2,775			1,153			
3. 受取家賃		23,040			21,518			
4. 保険解約金		1,389			—			
5. 事故保険金		2,522			6,774			
6. キャンペーン手数料		2,266			1			
7. 契約違約金		—			9,523			
8. その他		21,865	54,985	0.7	20,963	61,812	0.8	6,827
V 営業外費用								
1. 支払利息		16,806			22,170			
2. 支払手数料		3,333			1,741			
3. 為替差損		—			5,221			
4. その他		2,379	22,518	0.3	32	29,166	0.4	6,648
経常利益又は経常損失 (△)			△48,629	△0.6	213,630	2.6	262,260	

区分	注記 番号	前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)			当連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)			対前年比
		金額 (千円)		百分比 (%)	金額 (千円)		百分比 (%)	増減 (千円)
VI 特別利益								
1. 投資有価証券売却益		311,162			—			
2. その他		65	311,227	3.8	—	—	—	△311,227
VII 特別損失								
1. 役員退職慰労金		2,400			—			
2. 減損損失	※1	76,865			6,043			
3. 過年度役員退職慰労引当金繰入額		—			306,260			
4. 訴訟和解金		—			65,820			
5. 過年度返品引当金繰入額		—			19,571			
6. その他		2,520	81,785	1.0	3,193	400,888	4.9	319,103
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)			180,812	2.2		△187,258	△2.3	△368,071
法人税、住民税及び事業税		65,773			142,717			
法人税等調整額		110,414	176,187	2.1	△57,054	85,663	1.1	△90,524
当期純利益又は当期純損失(△)			4,625	0.1		△272,922	△3.4	△277,547

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年3月31日 残高（千円）	530,950	274,139	2,242,380	△545,199	2,502,270
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当（注）			△22,969		△22,969
剰余金の配当			△25,258		△25,258
役員賞与（注）			△11,207		△11,207
当期純利益			4,625		4,625
自己株式の取得				△2,197	△2,197
自己株式の処分		0		132	133
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）					
連結会計年度中の変動額合計（千円）	－	0	△54,810	△2,064	△56,874
平成19年3月31日 残高（千円）	530,950	274,140	2,187,570	△547,264	2,445,396

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計	
平成18年3月31日 残高（千円）	194,916	9,148	204,065	2,706,336
連結会計年度中の変動額				
剰余金の配当（注）				△22,969
剰余金の配当				△25,258
役員賞与（注）				△11,207
当期純利益				4,625
自己株式の取得				△2,197
自己株式の処分				133
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）	△167,898	2,262	△165,636	△165,636
連結会計年度中の変動額合計（千円）	△167,898	2,262	△165,636	△222,510
平成19年3月31日 残高（千円）	27,018	11,410	38,429	2,483,825

（注）平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

当連結会計年度（自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成19年3月31日 残高（千円）	530,950	274,140	2,187,570	△547,264	2,445,396
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			△50,507		△50,507
当期純損失			△272,922		△272,922
自己株式の取得				△941	△941
自己株式の処分		△25	△11	157	120
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）					
連結会計年度中の変動額合計（千円）	－	△25	△323,441	△783	△324,250
平成20年3月31日 残高（千円）	530,950	274,115	1,864,129	△548,047	2,121,146

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計	
平成19年3月31日 残高（千円）	27,018	11,410	38,429	2,483,825
連結会計年度中の変動額				
剰余金の配当				△50,507
当期純損失				△272,922
自己株式の取得				△941
自己株式の処分				120
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）	△16,546	△1,351	△17,897	△17,897
連結会計年度中の変動額合計（千円）	△16,546	△1,351	△17,897	△342,148
平成20年3月31日 残高（千円）	10,472	10,059	20,531	2,141,677

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

		前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)	対前年比
区分	注記 番号	金額（千円）	金額（千円）	増減 （千円）
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>				
1. 税金等調整前当期純利益及び当期純損失（△）		180,812	△187,258	
2. 減価償却費		42,498	45,065	
3. 投資有価証券売却益		△311,162	—	
4. 固定資産処分損		177	709	
5. 減損損失		76,865	6,043	
6. 社債発行費償却額		533	—	
7. 貸倒引当金の減少額		△33,564	△3,013	
8. 退職給付引当金の増加額		20,781	14,576	
9. 役員退職慰労引当金の増加額		—	323,790	
10. 受取利息及び受取配当金		△3,900	△3,030	
11. 支払利息		16,806	22,170	
12. 為替差損益		△3,775	5,221	
13. 売上債権の増減額		△57,156	45,972	
14. 棚卸資産の減少額		18,003	312,125	
15. 仕入債務の増減額		△185,533	71,402	
16. 未払消費税等の増減額		△14,752	40,638	
17. その他		△11,410	47,727	
小計		△264,776	742,141	1,006,917
18. 利息及び配当金の受取額		3,696	2,812	
19. 利息の支払額		△17,424	△22,127	
20. 法人税等の支払額		△101,413	△95,215	
営業活動によるキャッシュ・フロー		△379,918	627,610	1,007,528
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>				
1. 定期預金の預入による支出		△62,301	△57,177	
2. 定期預金の払戻による収入		63,834	59,100	
3. 投資有価証券の取得による支出		—	△58,203	
4. 投資有価証券の売却による収入		351,670	—	
5. 有形固定資産の取得による支出		△259,710	△42,635	
6. 無形固定資産の取得による支出		△9,133	△4,544	
7. 貸付金の回収による収入		10,890	3,950	
8. その他		△21,166	11,606	
投資活動によるキャッシュ・フロー		74,083	△87,904	△161,987

		前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)	対前年比
区分	注記 番号	金額 (千円)	金額 (千円)	増減 (千円)
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー				
1. 短期借入金の増減額		245,000	△855,000	
2. 長期借入による収入		300,000	875,000	
3. 長期借入金の返済による支出		△160,320	△216,658	
4. 社債の償還による支出		△69,000	△69,000	
5. 自己株式の取得による支出		△2,197	△941	
6. 自己株式の売却による収入		133	120	
7. 配当金の支払額		△48,228	△50,507	
財務活動によるキャッシュ・フロー		265,387	△316,986	△582,373
Ⅳ 現金及び現金同等物に係る換算差額		5,211	△6,037	△11,249
Ⅴ 現金及び現金同等物の増加額		△35,235	216,681	251,917
Ⅵ 現金及び現金同等物の期首残高		644,556	609,321	△35,235
Ⅶ 現金及び現金同等物の期末残高		609,321	826,003	216,681



連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

項目	前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)
1. 連結の範囲に関する事項	連結子会社の数 2社 連結子会社の名称 株式会社ユナイテッドデザイン 株式会社中京医薬品コリア	同 左
2. 連結子会社の事業年度等に関する事項	連結子会社のうち、株式会社中京医薬品コリアの決算日は12月31日であります。 連結財務諸表作成に当たっては同決算日現在の決算書を使用しており連結決算日との間に発生した重要な取引については連結上必要な調整を行っております。	同 左
3. 会計処理基準に関する事項 (1) 重要な資産の評価基準及び評価方法  (2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法	①有価証券 その他有価証券 時価のあるもの 連結決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定） 時価のないもの 移動平均法による原価法 ②棚卸資産 主として月次移動平均法による原価法 ①有形固定資産 主として定率法。ただし平成10年4月1日以降取得した建物（附属設備は除く）は定額法 なお、耐用年数及び残存価額については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。	①有価証券 その他有価証券 時価のあるもの 同 左  時価のないもの 同 左 ②棚卸資産 同 左 ①有形固定資産 同 左  （会計方針の変更） 当社は、法人税法の改正に伴い、当連結会計年度より、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。 この変更に伴う損益の影響は軽微であります。 （追加情報） 当社は、法人税法の改正に伴い、平成19年3月31日以前に取得した資産については、改正前の法人税法に基づく減価償却の方法の適用により取得価額の5%に到達した連結会計年度の翌連結会計年度より、取得価額の5%相当額と備忘価額との差額を5年間にわたり均等償却し減価償却費に含めて計上しております。 この変更に伴う損益の影響は軽微であります。

項目	前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)
<p>(3) 重要な繰延資産の処理方法</p> <p>(4) 重要な引当金の計上基準</p>	<p>②無形固定資産 定額法。なお、耐用年数については法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。ただし、自社利用のソフトウェアについては、社内の利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。</p> <p>社債発行費 社債発行時から3年均等償却を行っております。</p> <p>①貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し回収不能見込額を計上しております。</p> <p>②賞与引当金 従業員への賞与の支給に備えるため、将来の支給見込額のうち当連結会計年度の負担額を計上しております。</p> <p>③ _____</p> <p>④退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当連結会計年度末における退職給付債務および年金資産の見込額に基づき計上しております。また、数理計算上の差異は各発生時における従業員の平均残存勤務期間内の一定年数（7年）による定率法により按分した額を、それぞれ発生の翌連結会計年度から費用処理することとしております。</p> <p>なお、会計基準変更時差異については10年による按分額を費用処理しております。</p>	<p>②無形固定資産 同 左</p> <p>_____</p> <p>①貸倒引当金 同 左</p> <p>②賞与引当金 同 左</p> <p>③返品引当金 売上返品による損失に備えるため、過去の返品実績に基づき算定した返品見込額に対応する販売利益相当額を計上しております。</p> <p>(会計方針の変更) 従来、返品に伴う損失は返品を受けた期間にて計上しておりましたが、当連結会計年度において返品額が増加している状況に鑑み、より適正な期間損益計算と財務内容の健全化を図るため当連結会計年度より返品引当金を計上する方法に変更いたしました。</p> <p>この結果、従来の方法によった場合に比べ、売上総利益、営業利益及び経常利益がそれぞれ4,170千円減少し、税金等調整前当期純損失が23,741千円増加しております。</p> <p>④退職給付引当金 同 左</p>

項目	前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)
<p>(5) 重要なリース取引の処理方法</p> <p>(6) 重要なヘッジ会計の方法</p> <p>(7) 在外子会社の会計処理基準</p>	<p>⑤</p> <p>リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。</p> <p>①ヘッジ会計の方法 繰延ヘッジ処理を採用しております。 金利スワップ取引については、特例処理の要件を満たしている場合には特例処理を採用しております。</p> <p>②ヘッジ手段とヘッジ対象 ヘッジ手段：金利スワップ ヘッジ対象：借入金</p> <p>③ヘッジ方針 借入金の金利変動リスクを回避する目的で、金利スワップ取引を行っておりヘッジ対象の識別は個別契約ごとに行っております。</p> <p>④ヘッジ有効性評価の方法 特例処理によっている金利スワップについては、有効性評価を省略しております。</p> <p>在外子会社の採用する会計処理基準は現地において一般に公正妥当と認められる会計基準に従っておりますが、親会社が採用している基準と重要な差異はありません。</p>	<p>⑤役員退職慰労引当金 役員退職慰労金の支払いに備えるため、役員退職慰労金内規に基づく当連結会計年度末要支給額を計上しております。 (会計方針の変更) 役員退職慰労金は、従来、支出時の費用として処理しておりましたが、当連結会計年度より内規に基づく連結会計年度末要支給額を役員退職慰労引当金として計上する方法に変更しました。 この変更は、「租税特別措置法上の準備金及び特別法上の引当金又は準備金並びに役員退職慰労引当金等に関する監査上の取扱い」（日本公認会計士協会 監査・保証実務委員会報告第42号 平成19年4月13日）の公表を契機として、内規の見直し作業を行い、要支給額の合理的な算定が可能になったことによるものであります。 この変更により、当連結会計年度の営業利益及び経常利益がそれぞれ17,530千円減少し、税金等調整前当期純損失が323,790千円増加しております。</p> <p>同 左</p> <p>①ヘッジ会計の方法 同 左</p> <p>②ヘッジ手段とヘッジ対象 同 左</p> <p>③ヘッジ方針 同 左</p> <p>④ヘッジ有効性評価の方法 同 左</p> <p>同 左</p>

項目	前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)
(8) その他連結財務諸表作成のための重要な事項	消費税等の会計処理 消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式を採用しております。	消費税等の会計処理 同 左
4. 連結子会社の資産及び負債の評価に関する事項	全面時価評価法を採用しております。	同 左
5. 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲	手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なりリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなります。	同 左

連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更

前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)
(貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準) 当連結会計年度より、「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」(企業会計基準第5号 平成17年12月9日)及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」(企業会計基準適用指針第8号 平成17年12月9日)を適用しております。 これまでの資本の部の合計に相当する金額は2,483,825千円であります。 なお、当連結会計年度における連結貸借対照表の純資産の部については、連結財務諸表規則の改正に伴い、改正後の連結財務諸表規則により作成しております。	—————

表示方法の変更

前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)
(連結キャッシュ・フロー計算書) 営業活動によるキャッシュ・フローの「投資有価証券売却益」は、前連結会計年度は「その他」に含めて表示しておりましたが、金額的重要性が増したため区分掲記しております。 なお、前連結会計年度の「その他」に含まれている「投資有価証券売却益」は11,671千円であります。	—————

注記事項

(連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成19年3月31日)	当連結会計年度 (平成20年3月31日)																																				
<p>※1. 有形固定資産の減価償却累計額 711,656千円</p> <p>※2. 担保に供している資産及びこれに対応する債務は次のとおりであります。</p> <p>(1) 担保に供している資産</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">建物</td> <td style="text-align: right;">198,787千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">土地</td> <td style="text-align: right;">745,525</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">944,312</td> </tr> </table> <p>(2) 上記に対応する債務</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">1年内返済予定長期借入金</td> <td style="text-align: right;">189,377千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">長期借入金</td> <td style="text-align: right;">299,590</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">488,967</td> </tr> </table> <p>3. 保証債務</p> <p style="padding-left: 20px;">下記のとおり取引先の銀行借入に対し、保証を行っております。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; border-bottom: 1px solid black;">保証先</th> <th style="text-align: center; border-bottom: 1px solid black;">保証金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding-left: 20px;">株式会社岩手中京医薬品</td> <td style="text-align: right;">30,364千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※4. 連結会計年度末日満期手形</p> <p style="padding-left: 20px;">連結会計年度末日満期手形の会計処理については、当連結会計年度の末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。当連結会計年度末日満期手形の金額は、次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">受取手形</td> <td style="text-align: right;">22,380千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">支払手形</td> <td style="text-align: right;">148,988</td> </tr> </table>	建物	198,787千円	土地	745,525	計	944,312	1年内返済予定長期借入金	189,377千円	長期借入金	299,590	計	488,967	保証先	保証金額	株式会社岩手中京医薬品	30,364千円	受取手形	22,380千円	支払手形	148,988	<p>※1. 有形固定資産の減価償却累計額 732,536千円</p> <p>※2. 担保に供している資産及びこれに対応する債務は次のとおりであります。</p> <p>(1) 担保に供している資産</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">建物</td> <td style="text-align: right;">189,191千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">土地</td> <td style="text-align: right;">745,525</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">934,717</td> </tr> </table> <p>(2) 上記に対応する債務</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">1年内返済予定長期借入金</td> <td style="text-align: right;">366,203千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">長期借入金</td> <td style="text-align: right;">780,887</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">1,147,090</td> </tr> </table> <p>3. 保証債務</p> <p style="padding-left: 20px;">下記のとおり取引先の銀行借入に対し、保証を行っております。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; border-bottom: 1px solid black;">保証先</th> <th style="text-align: center; border-bottom: 1px solid black;">保証金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding-left: 20px;">株式会社岩手中京医薬品</td> <td style="text-align: right;">21,268千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※4.</p>	建物	189,191千円	土地	745,525	計	934,717	1年内返済予定長期借入金	366,203千円	長期借入金	780,887	計	1,147,090	保証先	保証金額	株式会社岩手中京医薬品	21,268千円
建物	198,787千円																																				
土地	745,525																																				
計	944,312																																				
1年内返済予定長期借入金	189,377千円																																				
長期借入金	299,590																																				
計	488,967																																				
保証先	保証金額																																				
株式会社岩手中京医薬品	30,364千円																																				
受取手形	22,380千円																																				
支払手形	148,988																																				
建物	189,191千円																																				
土地	745,525																																				
計	934,717																																				
1年内返済予定長期借入金	366,203千円																																				
長期借入金	780,887																																				
計	1,147,090																																				
保証先	保証金額																																				
株式会社岩手中京医薬品	21,268千円																																				

(連結損益計算書関係)

前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)																											
<p>※1. 減損損失の内容は以下のとおりであります。 当連結会計期間において当企業集団は以下の資産 について減損損失を計上しました。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">場所</th> <th style="text-align: center;">用途</th> <th style="text-align: center;">種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長良川酵素工場 アクアマジック名古屋 名張営業所他 13営業所</td> <td style="text-align: center;">事業用資産</td> <td style="text-align: center;">建物及び構築物 その他</td> </tr> </tbody> </table> <p>当企業集団は、資産を事業所ごとにグルーピング しております。 事業用資産については、営業から生じる損益及び 使用価値が継続してマイナスであり、資産グループ の固定資産簿価を回収できないと判断した事業所及 び営業所の統廃合等により資産グループの回収可能 価額を著しく低下させる変化が生じる見込みである 事業所について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、 減損損失として特別損失に計上しております。 その内訳は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">建物及び構築物</td> <td style="text-align: right;">73,951 千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">2,913</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">76,865</td> </tr> </table> <p>なお、当該資産の回収可能価額は、主として正味 売却価額（0円）によっております。</p>	場所	用途	種類	長良川酵素工場 アクアマジック名古屋 名張営業所他 13営業所	事業用資産	建物及び構築物 その他	建物及び構築物	73,951 千円	その他	2,913	計	76,865	<p>※1. 減損損失の内容は以下のとおりであります。 当連結会計期間において当企業集団は以下の資産 について減損損失を計上しました。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">場所</th> <th style="text-align: center;">用途</th> <th style="text-align: center;">種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長野営業所他 3営業所</td> <td style="text-align: center;">事業用資産</td> <td style="text-align: center;">建物及び構築物 その他</td> </tr> <tr> <td>本社</td> <td style="text-align: center;">遊休資産</td> <td style="text-align: center;">電話加入権</td> </tr> </tbody> </table> <p>当企業集団は、資産を事業所ごとにグルーピング しております。 事業用資産については、営業から生じる損益及び 使用価値が継続してマイナスであり、資産グループ の固定資産簿価を回収できないと判断した事業所 について帳簿価額を回収可能価額（0円）まで減額し、 減損損失として特別損失に計上しております。 また、電話加入権は現在遊休状態にあり、将来の 使用見込みが定まっていないため回収可能価額まで 減損処理しております。 その内訳は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">建物及び構築物</td> <td style="text-align: right;">626 千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">5,417</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">6,043</td> </tr> </table>	場所	用途	種類	長野営業所他 3営業所	事業用資産	建物及び構築物 その他	本社	遊休資産	電話加入権	建物及び構築物	626 千円	その他	5,417	計	6,043
場所	用途	種類																										
長良川酵素工場 アクアマジック名古屋 名張営業所他 13営業所	事業用資産	建物及び構築物 その他																										
建物及び構築物	73,951 千円																											
その他	2,913																											
計	76,865																											
場所	用途	種類																										
長野営業所他 3営業所	事業用資産	建物及び構築物 その他																										
本社	遊休資産	電話加入権																										
建物及び構築物	626 千円																											
その他	5,417																											
計	6,043																											

（連結株主資本等変動計算書関係）

前連結会計年度（自平成18年4月1日 至平成19年3月31日）

1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

	前連結会計年度末株式数（株）	当連結会計年度増加株式数（株）	当連結会計年度減少株式数（株）	当連結会計年度末株式数（株）
発行済株式				
普通株式（注1）	10,350,668	1,035,066	—	11,385,734
合計	10,350,668	1,035,066	—	11,385,734
自己株式				
普通株式（注2）	1,162,765	120,891	312	1,283,344
合計	1,162,765	120,891	312	1,283,344

（注）1. 普通株式の発行済株式数の増加1,035,066株は、株式分割による増加であります。

2. 普通株式の自己株式の株式数の増加120,891株は、株式分割による増加116,276株及び単元未満株式の買取による増加4,615株による増加であります。

普通株式の自己株式の株式数の減少312株は単元未満株式の売渡しによるものであります。

2. 新株予約権及び自己新株予約権に関する事項

該当事項はありません。

3. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

（決議）	株式の種類	配当金の総額（千円）	1株当たり配当額（円）	基準日	効力発生日
平成18年6月27日 定時株主総会	普通株式	22,969	2.5	平成18年3月31日	平成18年6月28日
平成18年11月10日 取締役会	普通株式	25,258	2.5	平成18年9月30日	平成18年12月13日

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

（決議）	株式の種類	配当金の総額（千円）	配当の原資	1株当たり配当額（円）	基準日	効力発生日
平成19年6月26日 定時株主総会	普通株式	25,255	利益剰余金	2.5	平成19年3月31日	平成19年6月27日

当連結会計年度（自平成19年4月1日 至平成20年3月31日）

1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

	前連結会計年度末株式数（株）	当連結会計年度増加株式数（株）	当連結会計年度減少株式数（株）	当連結会計年度末株式数（株）
発行済株式				
普通株式	11,385,734	—	—	11,385,734
合計	11,385,734	—	—	11,385,734
自己株式				
普通株式（注）	1,283,344	2,794	370	1,285,768
合計	1,283,344	2,794	370	1,285,768

（注）普通株式の自己株式の株式数の増加2,794株は、単元未満株式の買取によるものであります。  
普通株式の自己株式の株式数の減少370株は、単元未満株式の売渡しによるものであります。

2. 新株予約権及び自己新株予約権に関する事項

該当事項はありません。

3. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

（決議）	株式の種類	配当金の総額（千円）	1株当たり配当額（円）	基準日	効力発生日
平成19年6月26日 定時株主総会	普通株式	25,255	2.5	平成19年3月31日	平成18年6月27日
平成19年11月12日 取締役会	普通株式	25,251	2.5	平成19年9月30日	平成19年12月13日

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

（決議）	株式の種類	配当金の総額（千円）	配当の原資	1株当たり配当額（円）	基準日	効力発生日
平成20年6月24日 定時株主総会	普通株式	25,249	利益剰余金	2.5	平成20年3月31日	平成20年6月25日



（連結キャッシュ・フロー計算書関係）

	前連結会計年度 （自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日）	当連結会計年度 （自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日）
現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係		
現金及び預金勘定	千円	千円
投資その他の資産の「その他」に計上されている長期性預金	749,447	964,144
預入期間が3か月を超える定期預金	50,000	50,000
現金及び現金同等物	<u>△190,125</u>	<u>△188,141</u>
	609,321	826,003

（リース取引関係）

前連結会計年度 （自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日）	当連結会計年度 （自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日）																																																				
1. リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引 (1) リース物件の取得価額相当額・減価償却累計額相当額及び期末残高相当額	1. リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引 (1) リース物件の取得価額相当額・減価償却累計額相当額及び期末残高相当額																																																				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="2">有形固定資産</th> <th>無形固定資産</th> <th rowspan="3">合計</th> </tr> <tr> <th>器具及び備品</th> <th>機械装置他</th> <th>ソフトウェア</th> </tr> <tr> <th>(千円)</th> <th>(千円)</th> <th>(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>取得価額相当額</td> <td style="text-align: right;">224,697</td> <td style="text-align: right;">72,355</td> <td style="text-align: right;">199,789</td> <td style="text-align: right;">496,842</td> </tr> <tr> <td>減価償却累計額相当額</td> <td style="text-align: right;">131,602</td> <td style="text-align: right;">28,838</td> <td style="text-align: right;">112,122</td> <td style="text-align: right;">272,564</td> </tr> <tr> <td>期末残高相当額</td> <td style="text-align: right;">93,094</td> <td style="text-align: right;">43,516</td> <td style="text-align: right;">87,666</td> <td style="text-align: right;">224,278</td> </tr> </tbody> </table>		有形固定資産		無形固定資産	合計	器具及び備品	機械装置他	ソフトウェア	(千円)	(千円)	(千円)	取得価額相当額	224,697	72,355	199,789	496,842	減価償却累計額相当額	131,602	28,838	112,122	272,564	期末残高相当額	93,094	43,516	87,666	224,278	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="2">有形固定資産</th> <th>無形固定資産</th> <th rowspan="3">合計</th> </tr> <tr> <th>器具及び備品</th> <th>機械装置他</th> <th>ソフトウェア</th> </tr> <tr> <th>(千円)</th> <th>(千円)</th> <th>(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>取得価額相当額</td> <td style="text-align: right;">273,980</td> <td style="text-align: right;">104,355</td> <td style="text-align: right;">137,058</td> <td style="text-align: right;">515,394</td> </tr> <tr> <td>減価償却累計額相当額</td> <td style="text-align: right;">148,957</td> <td style="text-align: right;">43,206</td> <td style="text-align: right;">98,919</td> <td style="text-align: right;">291,083</td> </tr> <tr> <td>期末残高相当額</td> <td style="text-align: right;">125,023</td> <td style="text-align: right;">61,149</td> <td style="text-align: right;">38,138</td> <td style="text-align: right;">224,310</td> </tr> </tbody> </table>		有形固定資産		無形固定資産	合計	器具及び備品	機械装置他	ソフトウェア	(千円)	(千円)	(千円)	取得価額相当額	273,980	104,355	137,058	515,394	減価償却累計額相当額	148,957	43,206	98,919	291,083	期末残高相当額	125,023	61,149	38,138	224,310
		有形固定資産		無形固定資産		合計																																															
		器具及び備品	機械装置他	ソフトウェア																																																	
	(千円)	(千円)	(千円)																																																		
取得価額相当額	224,697	72,355	199,789	496,842																																																	
減価償却累計額相当額	131,602	28,838	112,122	272,564																																																	
期末残高相当額	93,094	43,516	87,666	224,278																																																	
	有形固定資産		無形固定資産	合計																																																	
	器具及び備品	機械装置他	ソフトウェア																																																		
	(千円)	(千円)	(千円)																																																		
取得価額相当額	273,980	104,355	137,058	515,394																																																	
減価償却累計額相当額	148,957	43,206	98,919	291,083																																																	
期末残高相当額	125,023	61,149	38,138	224,310																																																	
(2) 未経過リース料期末残高相当額	(2) 未経過リース料期末残高相当額																																																				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td>1年内</td> <td style="text-align: right;">82,949千円</td> </tr> <tr> <td>1年超</td> <td style="text-align: right;">144,823</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;"><u>227,773</u></td> </tr> </tbody> </table>	1年内	82,949千円	1年超	144,823	合計	<u>227,773</u>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td>1年内</td> <td style="text-align: right;">73,753千円</td> </tr> <tr> <td>1年超</td> <td style="text-align: right;">153,964</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;"><u>227,717</u></td> </tr> </tbody> </table>	1年内	73,753千円	1年超	153,964	合計	<u>227,717</u>																																								
1年内	82,949千円																																																				
1年超	144,823																																																				
合計	<u>227,773</u>																																																				
1年内	73,753千円																																																				
1年超	153,964																																																				
合計	<u>227,717</u>																																																				
(3) 当期の支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額	(3) 当期の支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額																																																				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td>支払リース料</td> <td style="text-align: right;">104,744千円</td> </tr> <tr> <td>減価償却費相当額</td> <td style="text-align: right;">98,421</td> </tr> <tr> <td>支払利息相当額</td> <td style="text-align: right;">5,781</td> </tr> </tbody> </table>	支払リース料	104,744千円	減価償却費相当額	98,421	支払利息相当額	5,781	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td>支払リース料</td> <td style="text-align: right;">104,112千円</td> </tr> <tr> <td>減価償却費相当額</td> <td style="text-align: right;">98,597</td> </tr> <tr> <td>支払利息相当額</td> <td style="text-align: right;">5,663</td> </tr> </tbody> </table>	支払リース料	104,112千円	減価償却費相当額	98,597	支払利息相当額	5,663																																								
支払リース料	104,744千円																																																				
減価償却費相当額	98,421																																																				
支払利息相当額	5,781																																																				
支払リース料	104,112千円																																																				
減価償却費相当額	98,597																																																				
支払利息相当額	5,663																																																				
(4) 減価償却費相当額の算定方法	(4) 減価償却費相当額の算定方法																																																				
リース期間を耐用年数、残存価額を零とする定額法によっております。	同 左																																																				
(5) 利息相当額の算定方法	(5) 利息相当額の算定方法																																																				
リース料総額とリース物件の取得価額相当額との差額を利息相当額とし、各期への配分方法については、利息法によっております。	同 左																																																				
2. オペレーティング・リース取引	2. オペレーティング・リース取引																																																				
未経過リース料	未経過リース料																																																				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td>1年内</td> <td style="text-align: right;">52,920千円</td> </tr> <tr> <td>1年超</td> <td style="text-align: right;">22,990</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;"><u>75,910</u></td> </tr> </tbody> </table>	1年内	52,920千円	1年超	22,990	合計	<u>75,910</u>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td>1年内</td> <td style="text-align: right;">17,465千円</td> </tr> <tr> <td>1年超</td> <td style="text-align: right;">5,570</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;"><u>23,035</u></td> </tr> </tbody> </table>	1年内	17,465千円	1年超	5,570	合計	<u>23,035</u>																																								
1年内	52,920千円																																																				
1年超	22,990																																																				
合計	<u>75,910</u>																																																				
1年内	17,465千円																																																				
1年超	5,570																																																				
合計	<u>23,035</u>																																																				

（有価証券関係）

前連結会計年度（自平成18年4月1日 至平成19年3月31日）

1. その他有価証券で時価のあるもの

	種類	取得原価 (千円)	連結貸借対照表 計上額 (千円)	差額 (千円)
連結貸借対照表計上額が取得原価を 超えるもの	(1) 株式	17,822	64,342	46,520
	(2) 債券	—	—	—
	(3) その他	550	932	382
	計	18,372	65,275	46,903
連結貸借対照表計上額が取得原価を 超えないもの	(1) 株式	2,290	1,840	△450
	(2) 債券	—	—	—
	(3) その他	7,924	6,880	△1,043
	計	10,214	8,720	△1,493
合計		28,586	73,995	45,409

2. 当連結会計年度中に売却したその他有価証券

売却額 (千円)	売却益の合計 (千円)	売却損の合計 (千円)
351,670	311,162	—

3. 時価評価されていない有価証券

	連結貸借対照表計上額 (千円)
その他有価証券	
非上場株式	2,219
非上場外国債券	57

4. その他有価証券のうち満期があるものの今後の償還予定額

区分	1年以内 (千円)	1年超5年以内 (千円)	5年超10年以内 (千円)	10年超 (千円)
1. 債券				
国債・地方債等	—	—	—	—
社債	—	—	—	—
その他	—	—	57	—
2. その他				
投資信託	—	932	2,857	—
計	—	932	2,915	—

当連結会計年度（自平成19年4月1日 至平成20年3月31日）

1. その他有価証券で時価のあるもの

	種類	取得原価 (千円)	連結貸借対照表 計上額 (千円)	差額 (千円)
連結貸借対照表計上額が取得原価を 超えるもの	(1) 株式	42,615	65,322	22,707
	(2) 債券	—	—	—
	(3) その他	550	674	124
	計	43,165	65,997	22,831
連結貸借対照表計上額が取得原価を 超えないもの	(1) 株式	34,392	30,492	△3,899
	(2) 債券	—	—	—
	(3) その他	6,967	5,634	△1,332
	計	41,359	36,127	△5,231
合計		84,524	102,124	17,600

2. 時価評価されていない有価証券

	連結貸借対照表計上額 (千円)
その他有価証券	
非上場株式	2,219
非上場外国債券	54

3. その他有価証券のうち満期があるものの今後の償還予定額

区分	1年以内 (千円)	1年超5年以内 (千円)	5年超10年以内 (千円)	10年超 (千円)
1. 債券				
国債・地方債等	—	—	—	—
社債	—	—	—	—
その他	—	54	—	—
2. その他				
投資信託	—	674	1,820	—
計	—	728	1,820	—

(デリバティブ取引関係)

1. 取引の状況に関する事項

前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)
<p>(1) 取引の内容 当企業集団の利用しているデリバティブ取引は、金利関連で金利スワップ取引であります。</p> <p>(2) 取引に対する取組方針 当企業集団のデリバティブ取引は、将来の為替・金利の変動によるリスク回避を目的としており、投機的な取引は行わない方針であります。</p> <p>(3) 取引の利用目的 当企業集団の利用しているデリバティブ取引は、金利関連で借入金利等の将来の金利市場における利率上昇による変動リスクを回避する目的で利用しております。なお、デリバティブ取引を利用して繰延ヘッジ処理によるヘッジ会計を行っております。</p> <p>(4) 取引に係るリスクの内容 金利スワップ取引は市場金利の変動によるリスクを有しております。なお、取引相手先は高格付を有する金融機関に限定しているため、信用リスクはほとんどないと認識しております。</p> <p>(5) 取引に係るリスク管理体制 デリバティブ取引の執行・管理については、取引権限及び取引限度額等を定めた社内ルールに従い、財務担当部門が決裁権限者の承認を得て行っております。</p>	<p>(1) 取引の内容 同左</p> <p>(2) 取引に対する取組方針 同左</p> <p>(3) 取引の利用目的 同左</p> <p>(4) 取引に係るリスクの内容 同左</p> <p>(5) 取引に係るリスク管理体制 同左</p>

2. 取引の時価等に関する事項

前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)
<p>ヘッジ会計を適用しておりますので、記載を省略しております。</p>	<p>同左</p>

（退職給付関係）

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として退職一時金制度と適格退職年金制度を併用しております。

連結子会社の内1社については、退職一時金制度を採用しております。

2. 退職給付債務及びその内訳

	前連結会計年度 (平成19年3月31日)	当連結会計年度 (平成20年3月31日)
(1) 退職給付債務（千円）	△305,177	△326,474
(2) 年金資産（千円）	241,552	244,686
(3) 未積立退職給付債務（1）+（2）（千円）	△63,624	△81,788
(4) 会計基準変更時差異の未処理額（千円）	9,492	6,328
(5) 未認識数理計算上の差異（千円）	3,899	24,130
(6) 連結貸借対照表計上額純額 （3）+（4）+（5）（千円）	△50,233	△51,330
(7) 前払年金費用（千円）	91,500	104,850
(8) 退職給付引当金（6）-（7）（千円）	△141,733	△156,180

3. 退職給付費用の内訳

	前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)
退職給付費用（千円）	34,134	43,055
(1) 勤務費用（千円）	34,464	39,056
(2) 利息費用（千円）	4,298	4,840
(3) 期待運用収益（減算）（千円）	△6,278	△5,096
(4) 会計基準変更時差異の費用処理額 （千円）	3,164	3,164
(5) 未認識数理計算上の差異の費用処理額 （千円）	△1,515	1,091

4. 退職給付債務の計算基礎

	前連結会計年度 (平成19年3月31日)	当連結会計年度 (平成20年3月31日)
(1) 割引率（%）	1.6	1.7
(2) 期待運用収益率（%）	2.9	2.1
(3) 退職給付見込額の期間配分方法	ポイント基準	ポイント基準
(4) 会計基準変更時差異の処理年数（年）	10	10
(5) 数理計算上の差異の処理年数	7年による定率法により発生年度の翌期から費用処理	7年による定率法により発生年度の翌期から費用処理

（ストック・オプション等関係）  
該当事項はありません。

（企業結合等関係）  
該当事項はありません。

（税効果会計関係）

前連結会計年度 （平成19年3月31日）	当連結会計年度 （平成20年3月31日）																																																																																												
<p>(1) 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別内訳</p> <p>（繰延税金資産）</p> <p>① 流動の部</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">未払事業税等</td> <td style="text-align: right;">7,096千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">賞与引当金限度超過額</td> <td style="text-align: right;">50,156</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">その他</td> <td style="text-align: right;">15,949</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right; padding-right: 20px;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">73,202</td> </tr> </table> <p>② 固定の部</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">繰越欠損金</td> <td style="text-align: right;">9,707千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">退職給付引当金</td> <td style="text-align: right;">19,265</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">貸倒引当金</td> <td style="text-align: right;">16,297</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">貸倒損失否認</td> <td style="text-align: right;">331</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">減損損失</td> <td style="text-align: right;">131,757</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">その他</td> <td style="text-align: right;">19,499</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">評価性引当額</td> <td style="text-align: right;">△157,443</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">繰延税金負債（固定）との相殺</td> <td style="text-align: right;">△18,390</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right; padding-right: 20px;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">21,025</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">繰延税金資産合計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">94,228</td> </tr> </table> <p>（繰延税金負債）</p> <p>① 流動の部</p> <hr style="width: 20%; margin-left: 0;"/> <p>② 固定の部</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">その他有価証券評価差額金</td> <td style="text-align: right;">△18,390千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">繰延税金資産（固定）との相殺</td> <td style="text-align: right;">18,390</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">繰延税金負債合計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">—</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">差引：繰延税金資産の純額</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">94,228</td> </tr> </table> <p>(2) 法定実効税率と税効果会計適用後法人税等の負担率との差異の項目別内訳</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">法定実効税率</td> <td style="text-align: right;">40.5%</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">（調整）</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">・交際費等社外流出の負担率</td> <td style="text-align: right;">7.5%</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">・住民税均等割等負担率</td> <td style="text-align: right;">9.8</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">・評価性引当額</td> <td style="text-align: right;">41.4</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">・その他</td> <td style="text-align: right;">△1.8</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">税効果会計適用後の法人税等の負担率</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">97.4%</td> </tr> </table>	未払事業税等	7,096千円	賞与引当金限度超過額	50,156	その他	15,949	計	73,202	繰越欠損金	9,707千円	退職給付引当金	19,265	貸倒引当金	16,297	貸倒損失否認	331	減損損失	131,757	その他	19,499	評価性引当額	△157,443	繰延税金負債（固定）との相殺	△18,390	計	21,025	繰延税金資産合計	94,228	その他有価証券評価差額金	△18,390千円	繰延税金資産（固定）との相殺	18,390	繰延税金負債合計	—	差引：繰延税金資産の純額	94,228	法定実効税率	40.5%	（調整）		・交際費等社外流出の負担率	7.5%	・住民税均等割等負担率	9.8	・評価性引当額	41.4	・その他	△1.8	税効果会計適用後の法人税等の負担率	97.4%	<p>(1) 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別内訳</p> <p>（繰延税金資産）</p> <p>① 流動の部</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">未払事業税等</td> <td style="text-align: right;">9,819千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">賞与引当金</td> <td style="text-align: right;">83,430</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">商品評価減</td> <td style="text-align: right;">30,528</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">その他</td> <td style="text-align: right;">11,564</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">評価性引当額</td> <td style="text-align: right;">△4,674</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right; padding-right: 20px;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">130,668</td> </tr> </table> <p>② 固定の部</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">繰越欠損金</td> <td style="text-align: right;">14,625</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">退職給付引当金</td> <td style="text-align: right;">19,856</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">役員退職慰労引当金</td> <td style="text-align: right;">131,134</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">貸倒引当金</td> <td style="text-align: right;">15,065</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">貸倒損失否認</td> <td style="text-align: right;">135</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">減損損失</td> <td style="text-align: right;">123,549</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">その他</td> <td style="text-align: right;">27,834</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">評価性引当額</td> <td style="text-align: right;">△293,197</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">繰延税金負債（固定）との相殺</td> <td style="text-align: right;">△7,128</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right; padding-right: 20px;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">31,876</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">繰延税金資産合計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">162,544</td> </tr> </table> <p>（繰延税金負債）</p> <p>① 流動の部</p> <hr style="width: 20%; margin-left: 0;"/> <p>② 固定の部</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">その他有価証券評価差額金</td> <td style="text-align: right;">△7,128千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">繰延税金資産（固定）との相殺</td> <td style="text-align: right;">7,128</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">繰延税金負債合計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">—</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">差引：繰延税金資産の純額</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">162,544</td> </tr> </table> <p>(2) 法定実効税率と税効果会計適用後法人税等の負担率との差異の項目別内訳</p> <p style="padding-left: 20px;">税金等調整前当期純損失を計上しているため、記載を省略しております。</p>	未払事業税等	9,819千円	賞与引当金	83,430	商品評価減	30,528	その他	11,564	評価性引当額	△4,674	計	130,668	繰越欠損金	14,625	退職給付引当金	19,856	役員退職慰労引当金	131,134	貸倒引当金	15,065	貸倒損失否認	135	減損損失	123,549	その他	27,834	評価性引当額	△293,197	繰延税金負債（固定）との相殺	△7,128	計	31,876	繰延税金資産合計	162,544	その他有価証券評価差額金	△7,128千円	繰延税金資産（固定）との相殺	7,128	繰延税金負債合計	—	差引：繰延税金資産の純額	162,544
未払事業税等	7,096千円																																																																																												
賞与引当金限度超過額	50,156																																																																																												
その他	15,949																																																																																												
計	73,202																																																																																												
繰越欠損金	9,707千円																																																																																												
退職給付引当金	19,265																																																																																												
貸倒引当金	16,297																																																																																												
貸倒損失否認	331																																																																																												
減損損失	131,757																																																																																												
その他	19,499																																																																																												
評価性引当額	△157,443																																																																																												
繰延税金負債（固定）との相殺	△18,390																																																																																												
計	21,025																																																																																												
繰延税金資産合計	94,228																																																																																												
その他有価証券評価差額金	△18,390千円																																																																																												
繰延税金資産（固定）との相殺	18,390																																																																																												
繰延税金負債合計	—																																																																																												
差引：繰延税金資産の純額	94,228																																																																																												
法定実効税率	40.5%																																																																																												
（調整）																																																																																													
・交際費等社外流出の負担率	7.5%																																																																																												
・住民税均等割等負担率	9.8																																																																																												
・評価性引当額	41.4																																																																																												
・その他	△1.8																																																																																												
税効果会計適用後の法人税等の負担率	97.4%																																																																																												
未払事業税等	9,819千円																																																																																												
賞与引当金	83,430																																																																																												
商品評価減	30,528																																																																																												
その他	11,564																																																																																												
評価性引当額	△4,674																																																																																												
計	130,668																																																																																												
繰越欠損金	14,625																																																																																												
退職給付引当金	19,856																																																																																												
役員退職慰労引当金	131,134																																																																																												
貸倒引当金	15,065																																																																																												
貸倒損失否認	135																																																																																												
減損損失	123,549																																																																																												
その他	27,834																																																																																												
評価性引当額	△293,197																																																																																												
繰延税金負債（固定）との相殺	△7,128																																																																																												
計	31,876																																																																																												
繰延税金資産合計	162,544																																																																																												
その他有価証券評価差額金	△7,128千円																																																																																												
繰延税金資産（固定）との相殺	7,128																																																																																												
繰延税金負債合計	—																																																																																												
差引：繰延税金資産の純額	162,544																																																																																												

（セグメント情報）

a. 事業の種類別セグメント情報

前連結会計年度（自平成18年4月1日 至平成19年3月31日）

当企業集団の事業は家庭医薬品等販売事業、売水事業、環境事業、保険事業・その他の4つのセグメントから構成されています。当企業集団の家庭医薬品等販売事業は、全セグメントの売上高の合計及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める割合がいずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自平成19年4月1日 至平成20年3月31日）

当企業集団の事業は家庭医薬品等販売事業、売水事業、環境事業、保険事業・その他の4つのセグメントから構成されています。当企業集団の家庭医薬品等販売事業は、全セグメントの売上高の合計及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める割合がいずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

b. 所在地別セグメント情報

前連結会計年度（自平成18年4月1日 至平成19年3月31日）

全セグメントの売上高の合計及び全セグメントの資産の合計額に占める「本邦」の割合がいずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自平成19年4月1日 至平成20年3月31日）

全セグメントの売上高の合計及び全セグメントの資産の合計額に占める「本邦」の割合がいずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

c. 海外売上高

前連結会計年度（自平成18年4月1日 至平成19年3月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自平成19年4月1日 至平成20年3月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

（関連当事者との取引）

前連結会計年度（自平成18年4月1日 至平成19年3月31日）

役員及び個人主要株主等

属性	会社等の名称	住所	資本金又は出資金 (千円)	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合 (%)	関係内容		取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
						役員の兼任等 (人)	事業上の関係				
役員及びその近親者が議決権の過半数を所有している会社	(有)ヤマショー	愛知県半田市	3,000	保険代理店業	- (10.4)	-	損害保険取引	保険料の支払	4,254	流動資産 その他 投資その他の資産 その他	3,695  946

(注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

一般の取引条件と同一の方法により決定しております。

3. (有)ヤマショーは役員及びその近親者が議決権の75%を直接所有している会社であります。



当連結会計年度（自平成19年4月1日 至平成20年3月31日）

役員及び個人主要株主等

属性	会社等の名称	住所	資本金又は出資金 (千円)	事業の内容又は職業	議決権等の所有（被所有）割合 (%)	関係内容		取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
						役員の兼任等 (人)	事業上の関係				
役員及びその近親者が議決権の過半数を所有している会社	(有)ヤマショー	愛知県半田市	3,000	保険代理店業	－ (10.4)	－	損害保険取引	保険料の支払	6,785	流動資産	4,314
										その他	
										投資その他の資産	1,840
										その他	

- (注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。  
 2. 取引条件及び取引条件の決定方針等一般の取引条件と同一の方法により決定しております。  
 3. (有)ヤマショーは役員及びその近親者が議決権の75%を直接所有している会社であります。

（1株当たり情報）

前連結会計年度 （自 平成18年4月1日） 至 平成19年3月31日）		当連結会計年度 （自 平成19年4月1日） 至 平成20年3月31日）	
1株当たり純資産額	245.87円	1株当たり純資産額	212.05円
1株当たり当期純利益	0.46円	1株当たり当期純損失	27.02円
<p>なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。</p> <p>当企業集団は、平成18年4月1日付で株式1株につき1.1株の株式分割を行っております。</p> <p>なお、当該株式分割が前期首に行われたと仮定した場合の前連結会計年度における1株当たり情報については、以下のとおりとなります。</p>		<p>なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。</p>	
1株当たり純資産額	266.67円		
1株当たり当期純利益金額	3.36円		

（注）1株当たり当期純利益金額又は当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 （自 平成18年4月1日） 至 平成19年3月31日）	当連結会計年度 （自 平成19年4月1日） 至 平成20年3月31日）
当期純利益又は当期純損失（△）（千円）	4,625	△272,922
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る当期純利益又は当期純損失（△）（千円）	4,625	△272,922
期中平均株式数（千株）	10,100	10,101
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

## 5. 個別財務諸表

### (1) 貸借対照表

区分	注記 番号	前事業年度 (平成19年3月31日)		当事業年度 (平成20年3月31日)		対前年比 増減 (千円)
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	
(資産の部)						
I 流動資産						
1. 現金及び預金		729,116		927,943		
2. 受取手形	※5	64,535		67,426		
3. 売掛金		549,047		527,367		
4. 商品		454,991		307,744		
5. 委託商品	※4	667,370		516,258		
6. 製品		531		792		
7. 仕掛品		26,423		14,423		
8. 貯蔵品		14,126		20,525		
9. 前渡金		17,749		15,088		
10. 前払費用		42,888		41,717		
11. 繰延税金資産		72,860		130,668		
12. 未収入金		—		56,446		
13. その他		58,273		1,598		
14. 貸倒引当金		△17,866		△14,535		
流動資産合計		2,680,048	49.6	2,613,466	48.6	△66,582
II 固定資産						
1. 有形固定資産	※1					
(1) 建物	※2	443,588		505,931		
(2) 構築物		18,463		28,720		
(3) 機械装置		1,444		3,052		
(4) 器具及び備品		18,150		13,948		
(5) 土地	※2	1,497,770		1,497,770		
(6) 建設仮勘定		68,600		—		
有形固定資産合計		2,048,018	37.8	2,049,423	38.1	1,405
2. 無形固定資産						
(1) ソフトウェア		14,042		14,048		
(2) 水道施設利用権		470		1,622		
(3) 電話加入権		17,387		12,706		
無形固定資産合計		31,900	0.6	28,378	0.5	△3,521

区分	注記 番号	前事業年度 (平成19年3月31日)		当事業年度 (平成20年3月31日)		対前年比
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	増減 (千円)
3. 投資その他の資産						
(1) 投資有価証券		76,215		104,343		
(2) 関係会社株式		27,855		27,855		
(3) 出資金		740		720		
(4) 長期貸付金		16,250		15,290		
(5) 保険積立金		151,691		161,798		
(6) 差入保証金		197,163		181,613		
(7) 長期前払費用		5,415		4,164		
(8) 繰延税金資産		21,025		31,876		
(9) 前払年金費用		91,500		104,850		
(10) その他		100,069		99,821		
(11) 貸倒引当金		△40,241		△40,354		
投資その他の資産合計		647,682	12.0	691,979	12.8	44,296
固定資産合計		2,727,601	50.4	2,769,781	51.4	42,179
資産合計		5,407,649	100.0	5,383,247	100.0	△24,402
(負債の部)						
I 流動負債						
1. 支払手形	※5	437,397		500,280		
2. 買掛金		125,221		157,067		
3. 短期借入金		935,000		80,000		
4. 1年内返済予定長期借入金	※2	204,377		366,203		
5. 1年内償還予定社債		69,000		69,000		
6. 未払金		58,167		61,385		
7. 未払費用		268,445		266,714		
8. 未払法人税等		67,827		113,954		
9. 未払消費税等		13,654		55,745		
10. 前受金		123		368		
11. 預り金		58,345		36,084		
12. 賞与引当金		123,000		184,000		
13. 返品引当金		—		23,741		
14. その他		2,754		1,659		
流動負債合計		2,363,314	43.7	1,916,204	35.6	△447,110

区分	注記 番号	前事業年度 (平成19年3月31日)		当事業年度 (平成20年3月31日)		対前年比
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	増減 (千円)
II 固定負債	※2					
1. 社債		118,000		49,000		
2. 長期借入金		299,590		780,887		
3. 退職給付引当金		139,070		153,878		
4. 債務保証損失引当金		—		19,591		
5. 役員退職慰労引当金		—		323,790		
6. 預り保証金		5,560		3,560		
固定負債合計		562,220	10.4	1,330,706	24.7	768,486
負債合計		2,925,534	54.1	3,246,911	60.3	321,376
(純資産の部)						
I 株主資本						
1. 資本金		530,950	9.8	530,950	9.9	—
2. 資本剰余金						
(1) 資本準備金	274,115		274,115			
(2) その他資本剰余金	25		—			
資本剰余金合計	274,140	5.1	274,115	5.1	△25	
3. 利益剰余金						
(1) 利益準備金	64,585		64,585			
(2) その他利益剰余金						
別途積立金	1,427,610		1,427,610			
繰越利益剰余金	705,075		376,651			
利益剰余金合計	2,197,270	40.6	1,868,846	34.7	△328,423	
4. 自己株式	△547,264	△10.1	△548,047	△10.2	△783	
株主資本合計	2,455,096	45.4	2,125,864	39.5	△329,232	
II 評価・換算差額等						
1. その他有価証券評価差額金	27,018	0.5	10,472	0.2	△16,546	
評価・換算差額等合計	27,018	0.5	10,472	0.2	△16,546	
純資産合計	2,482,115	45.9	2,136,336	39.7	△345,779	
負債純資産合計	5,407,649	100.0	5,383,247	100.0	△24,402	

(2) 損益計算書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)		当事業年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)		対前年比 増減 (千円)		
		金額 (千円)	百分比 (%)	金額 (千円)	百分比 (%)			
I 売上高			8,058,215	100.0		8,075,801	100.0	17,585
II 売上原価								
1. 期首商品・委託商品・ 製品たな卸高		1,145,879				1,122,893		
2. 当期商品仕入高		3,098,445				2,609,396		
3. 当期製品製造原価		35,980				55,765		
合計		4,280,305				3,788,055		
4. 他勘定振替高	※1	123,621				119,057		
5. 期末商品・委託商品・ 製品たな卸高		1,122,893				824,795		
		3,033,790				2,844,203		
6. 返品引当金戻入額		—				19,571		
7. 返品引当金繰入額		—	3,033,790	37.6	△23,741	2,848,373	35.3	△185,416
売上総利益			5,024,425	62.4		5,227,428	64.7	203,002
III 販売費及び一般管理費								
1. 広告宣伝費		104,910				86,864		
2. 貸倒引当金繰入額		14,318				1,139		
3. 役員報酬		176,592				169,439		
4. 役員退職慰労引当金繰 入額		—				17,530		
5. 給料・手当		2,500,523				2,386,201		
6. 賞与引当金繰入額		123,000				184,000		
7. 福利厚生費		412,905				421,505		
8. 退職給付費用		32,107				40,380		
9. 旅費交通費		133,034				130,554		
10. 通信費		54,410				45,913		
11. 交際接待費		32,435				29,989		
12. 減価償却費		37,407				41,879		
13. 賃借料		560,101				522,311		
14. 車輛運行費		203,669				207,997		
15. その他		718,161	5,103,577	63.4	749,833	5,035,540	62.3	△68,037
営業利益又は営業損失 (△)			△79,152	△1.0		191,887	2.4	271,039

区分	注記 番号	前事業年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)		当事業年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)		対前年比	
		金額 (千円)	百分比 (%)	金額 (千円)	百分比 (%)	増減 (千円)	
IV 営業外収益							
1. 受取利息		915		1,754			
2. 受取配当金		2,775		1,153			
3. 受取賃貸料		23,040		21,518			
4. 保険解約金		1,389		—			
5. 事故保険金		2,522		6,774			
6. キャンペーン手数料		2,266		1			
7. 契約違約金		—		9,523			
8. その他		17,983	50,894	18,734	59,460	0.7	8,566
V 営業外費用							
1. 支払利息		14,052		19,862			
2. 社債利息		2,582		1,801			
3. 支払手数料		3,333		1,741			
4. その他		2,292	22,260	627	24,032	0.3	1,772
経常利益又は経常損失 (△)			△50,517		227,316	△0.6	277,833
VI 特別利益							
1. 投資有価証券売却益		311,162		—			
2. その他		65	311,227	—	—	3.8	△311,227
VII 特別損失							
1. 固定資産処分損	※2	177		241			
2. 役員退職慰労金		2,400		—			
3. 関係会社株式評価損		15,389		—			
4. 減損損失	※3	76,865		6,043			
5. 過年度返品引当金繰入額		—		19,571			
6. 債務保証損失引当金繰入額		—		19,591			
7. 過年度役員退職慰労引当金繰入額		—		306,260			
8. 訴訟和解金		—		65,820			
9. その他		2,342	97,174	2,483	420,012	1.2	322,837
税引前当期純利益又は 税引前当期純損失 (△)			163,534		△192,696	2.0	△356,231
法人税、住民税及び事 業税		65,632		142,603			
法人税等調整額		114,232	179,865	△57,395	85,207	1.0	△94,657
当期純利益又は当期純 損失 (△)			△16,330		△277,904	△0.2	△261,574

製造原価明細書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)		当事業年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)		対前年比
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	増減 (千円)
I 材料費		10,998	27.5	13,365	30.5	2,367
II 労務費		6,452	16.1	7,730	17.7	1,278
III 経費		22,568	56.4	22,669	51.8	100
(減価償却費)		(3,599)		(2,536)		
当期総製造費用		40,018	100.0	43,765	100.0	3,746
期首仕掛品棚卸高		22,384		26,423		
合計		62,403		70,189		
期末仕掛品棚卸高		26,423		14,423		
当期製品製造原価		35,980		55,765		

(注) 原価計算の方法

(注) 原価計算の方法

原価計算の方法は、単純実際総合原価計算であります。

同左



(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度（自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日）

	株主資本									自己株式	株主資本 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			利益剰余 金合計			
		資本準備 金	その他資 本剰余金	資本剰余 金合計	利益準備 金	その他利益剰余金					
					別途積立 金	繰越利益 剰余金					
平成18年3月31日 残高(千円)	530,950	274,115	24	274,139	64,585	1,427,610	780,841	2,273,036	△545,199	2,532,926	
事業年度中の変動額											
剰余金の配当（注）							△22,969	△22,969		△22,969	
剰余金の配当							△25,258	△25,258		△25,258	
役員賞与（注）							△11,207	△11,207		△11,207	
当期純損失							△16,330	△16,330		△16,330	
自己株式の取得									△2,197	△2,197	
自己株式の処分			0	0					132	133	
株主資本以外の項目の事業年 度中の変動額（純額）											
事業年度中の変動額合計(千円)	—	—	0	0	—	—	△75,765	△75,765	△2,064	△77,829	
平成19年3月31日 残高(千円)	530,950	274,115	25	274,140	64,585	1,427,610	705,075	2,197,270	△547,264	2,455,096	

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	評価・換算差額等合計	
平成18年3月31日 残高(千円)	194,916	194,916	2,727,843
事業年度中の変動額			
剰余金の配当（注）			△22,969
剰余金の配当			△25,258
役員賞与（注）			△11,207
当期純損失			△16,330
自己株式の取得			△2,197
自己株式の処分			133
株主資本以外の項目の事業年 度中の変動額（純額）	△167,898	△167,898	△167,898
事業年度中の変動額合計(千円)	△167,898	△167,898	△245,728
平成19年3月31日 残高(千円)	27,018	27,018	2,482,115

(注) 平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

当事業年度（自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日）

	株主資本									
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				自己株式	株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計		
					別途積立金	繰越利益剰余金				
平成19年3月31日 残高(千円)	530,950	274,115	25	274,140	64,585	1,427,610	705,075	2,197,270	△547,264	2,455,096
事業年度中の変動額										
剰余金の配当							△50,507	△50,507		△50,507
当期純損失							△277,904	△277,904		△277,904
自己株式の取得									△941	△941
自己株式の処分			△25	△25			△11	△11	157	120
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額（純額）										
事業年度中の変動額合計(千円)	－	－	△25	△25	－	－	△328,423	△328,423	△783	△329,232
平成20年3月31日 残高(千円)	530,950	274,115	－	274,115	64,585	1,427,610	376,651	1,868,846	△548,047	2,125,864

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成19年3月31日 残高(千円)	27,018	27,018	2,482,115
事業年度中の変動額			
剰余金の配当			△50,507
当期純損失			△277,904
自己株式の取得			△941
自己株式の処分			120
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額（純額）	△16,546	△16,546	△16,546
事業年度中の変動額合計(千円)	△16,546	△16,546	△345,779
平成20年3月31日 残高(千円)	10,472	10,472	2,136,336

重要な会計方針

項目	前事業年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	当事業年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)
<p>1. 有価証券の評価基準及び評価方法</p> <p>2. たな卸資産の評価基準及び評価方法</p> <p>3. 固定資産の減価償却の方法</p>	<p>子会社株式 移動平均法に基づく原価法</p> <p>その他有価証券 (1) 時価のあるもの 決算日の市場価格等に基づく時価法 (評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)</p> <p>(2) 時価のないもの 移動平均法による原価法</p> <p>(1) 商品・委託商品 月次移動平均法による原価法</p> <p>(2) 製品・仕掛品 総平均法による原価法</p> <p>(3) 貯蔵品 最終仕入原価法</p> <p>(1) 有形固定資産 定率法、ただし平成10年4月1日以降取得の建物（附属設備は除く）は定額法。 なお、耐用年数及び残存価額については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。</p> <p>(2) 無形固定資産 定額法、なお、耐用年数については、法人税法の規定する方法と同一の基準によっております。ただし、自社利用のソフトウェアについては、社内の利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。</p>	<p>子会社株式 同 左</p> <p>その他有価証券 (1) 時価のあるもの 同 左</p> <p>(2) 時価のないもの 同 左</p> <p>(1) 商品・委託商品 同 左</p> <p>(2) 製品・仕掛品 同 左</p> <p>(3) 貯蔵品 同 左</p> <p>(1) 有形固定資産 同 左</p> <p>(会計方針の変更)</p> <p>当社は、法人税法の改正に伴い、当事業年度より、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。</p> <p>この変更に伴う損益の影響は軽微であります。</p> <p>(追加情報)</p> <p>当社は、法人税法の改正に伴い、平成19年3月31日以前に取得した資産については、改正前の法人税法に基づく減価償却の方法の適用により取得価額の5%に到達した事業年度の翌事業年度より、取得価額の5%相当額と備忘価額との差額を5年間にわたり均等償却し減価償却費に含めて計上しております。</p> <p>この変更に伴う損益の影響は軽微であります。</p> <p>(2) 無形固定資産 同 左</p>

項目	前事業年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	当事業年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)
<p>4. 繰延資産の処理方法</p> <p>5. 引当金の計上基準</p>	<p>(1) 社債発行費は、社債発行時から3年償却を行っております。</p> <p>(1) 貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し回収不能見込額を計上しております。</p> <p>(2) 賞与引当金 従業員への賞与の支給に備えるため、将来の支給見込額のうち当期の負担額を計上しております。</p> <p>(3) _____</p> <p>(4) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、期末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。また、数理計算上の差異は各発生時における従業員の平均残存勤務期間内の一定年数（7年）による定率法により按分した額を、それぞれ発生の翌事業年度から費用処理することとしております。なお、会計基準変更時差異については10年による按分額を費用処理しております。</p>	<p>_____</p> <p>(1) 貸倒引当金 同 左</p> <p>(2) 賞与引当金 同 左</p> <p>(3) 返品引当金 売上返品による損失に備えるため、過去の返品実績に基づき算定した返品見込額に対応する販売利益相当額を計上しております。 (会計方針の変更) 従来、返品に伴う損失は返品を受けた期間にて計上しておりましたが、当事業年度において返品額が増加している状況に鑑み、より適正な期間損益計算と財務内容の健全化を図るため当連結会計年度より返品引当金を計上する方法に変更いたしました。 この結果、従来の方法によった場合に比べ、売上総利益、営業利益及び経常利益がそれぞれ4,170千円減少し、税引前当期純損失が23,741千円増加しております。</p> <p>(4) 退職給付引当金 同 左</p>

項目	前事業年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	当事業年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)
6. リース取引の処理方法	<p>(5) _____</p> <p>リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。</p>	<p>(5) 役員退職慰労引当金                      役員退職慰労金の支払いに備えるため、役員退職慰労金内規に基づく当事業年度末要支給額を計上しております。                      (会計方針の変更)                      役員退職慰労金は、従来、支出時の費用として処理しておりましたが、当事業年度より内規に基づく事業年度末要支給額を役員退職慰労引当金として計上する方法に変更しました。                      この変更は、「租税特別措置法上の準備金及び特別法上の準備金及び特別法上の引当金又は準備金並びに役員退職慰労引当金等に関する監査上の取扱い」(日本公認会計士協会 監査・保証実務委員会報告第42号平成19年4月13日)の公表を契機として、内規の見直し作業を行い、要支給額の合理的な算定が可能となったことによるものであります。                      この変更により、当事業年度の営業利益及び経常利益がそれぞれ17,530千円減少し税引前当期純損失が323,790千円増加しております。</p> <p>(6) _____</p> <p>債務保証損失引当金                      保証債務の履行による損失に備えるため、保証履行の可能性の高い債務保証につき、求償権の行使による回収可能性を検討して、損失見込額を計上しております。</p> <p>同 左</p>
7. ヘッジ会計の方法	<p>(1) ヘッジ会計の方法                      繰延ヘッジ処理を採用しております。金利スワップ取引については、特例処理の要件を満たしている場合には、特例処理を採用しております。</p> <p>(2) ヘッジ手段とヘッジ対象                      ヘッジ手段：金利スワップ                      ヘッジ対象：借入金</p> <p>(3) ヘッジ方針                      借入金の金利変動リスクを回避する目的で、金利スワップ取引を行っており、ヘッジ対象の識別は個別契約ごとに行っております。</p> <p>(4) ヘッジ有効性評価の方法                      特例処理によっている金利スワップについては、有効性評価を省略しております。</p>	<p>(1) ヘッジ会計の方法                      同 左</p> <p>(2) ヘッジ手段とヘッジ対象                      同 左</p> <p>(3) ヘッジ方針                      同 左</p> <p>(4) ヘッジ有効性評価の方法                      同 左</p>

項目	前事業年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	当事業年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)
8. 収益の計上基準	委託商品については、配置先における消費を営業員が確認したとき、収益を計上しております。	同 左
9. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	(1) 消費税等の会計処理 税抜方式によっております。	(1) 消費税等の会計処理 同 左

会計処理方法の変更

前事業年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	当事業年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)
<p>(貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準)</p> <p>当事業年度より、「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」(企業会計基準第5号 平成17年12月9日)及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」(企業会計基準適用指針第8号 平成17年12月9日)を適用しております。</p> <p>これまでの資本の部の合計に相当する金額は2,482,115千円であります。</p> <p>なお、当事業年度における貸借対照表の純資産の部については、財務諸表等規則の改正に伴い、改正後の財務諸表等規則により作成しております。</p>	—————

表示方法の変更

前事業年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	当事業年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)
—————	<p>(貸借対照表)</p> <p>前事業年度まで流動資産の「その他」に含めて表示しておりました「未収入金」は、当事業年度において、資産の総額の100分の1を超えたため区分掲記しました。</p> <p>なお、前事業年度末の「未収入金」は44,972千円あります。</p>

注記事項

（貸借対照表関係）

前事業年度 (平成19年3月31日)	当事業年度 (平成20年3月31日)																																														
<p>※1. 有形固定資産の減価償却累計額 704,054千円</p> <p>※2. 担保に供している資産及びこれに対応する債務は次のとおりであります。</p> <p>(1) 担保に供している資産</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">建物</td> <td style="text-align: right;">198,787千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">土地</td> <td style="text-align: right;">745,525</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">944,312</td> </tr> </table> <p>(2) 上記に対応する債務</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">1年内返済予定長期借入金</td> <td style="text-align: right;">189,377千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">長期借入金</td> <td style="text-align: right;">299,590</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">488,967</td> </tr> </table> <p>3. 保証債務 下記のとおり取引先に対し、保証を行っております。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">保証先</th> <th style="width: 20%;">金額（千円）</th> <th style="width: 50%;">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>㈱岩手中京医薬品</td> <td style="text-align: center;">30,364</td> <td>銀行借入</td> </tr> <tr> <td>㈱ユナイテッドデザイン</td> <td style="text-align: center;">1,036</td> <td>銀行借入</td> </tr> </tbody> </table> <p>※4. 一般家庭への配置商品であります。</p> <p>※5. 事業年度末日満期手形 事業年度末日満期手形の会計処理については、当事業年度の末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。当事業年度末日満期手形の金額は、次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 20px;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">受取手形</td> <td style="text-align: right;">22,380千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">支払手形</td> <td style="text-align: right;">143,824</td> </tr> </table>	建物	198,787千円	土地	745,525	計	944,312	1年内返済予定長期借入金	189,377千円	長期借入金	299,590	計	488,967	保証先	金額（千円）	内容	㈱岩手中京医薬品	30,364	銀行借入	㈱ユナイテッドデザイン	1,036	銀行借入	受取手形	22,380千円	支払手形	143,824	<p>※1. 有形固定資産の減価償却累計額 726,860千円</p> <p>※2. 担保に供している資産及びこれに対応する債務は次のとおりであります。</p> <p>(1) 担保に供している資産</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">建物</td> <td style="text-align: right;">189,191千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">土地</td> <td style="text-align: right;">745,525</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">934,717</td> </tr> </table> <p>(2) 上記に対応する債務</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">1年内返済予定長期借入金</td> <td style="text-align: right;">366,203千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">長期借入金</td> <td style="text-align: right;">780,887</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">1,147,090</td> </tr> </table> <p>3. 保証債務 下記のとおり取引先に対し、保証を行っております。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">保証先</th> <th style="width: 20%;">金額（千円）</th> <th style="width: 50%;">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>㈱岩手中京医薬品</td> <td style="text-align: center;">21,268</td> <td>銀行借入</td> </tr> <tr> <td>㈱ユナイテッドデザイン</td> <td style="text-align: center;">2,072 <small>（債務保証損失引当金残高を除く）</small></td> <td>銀行借入</td> </tr> </tbody> </table> <p>※4. 同 左</p> <p>※5.</p>	建物	189,191千円	土地	745,525	計	934,717	1年内返済予定長期借入金	366,203千円	長期借入金	780,887	計	1,147,090	保証先	金額（千円）	内容	㈱岩手中京医薬品	21,268	銀行借入	㈱ユナイテッドデザイン	2,072 <small>（債務保証損失引当金残高を除く）</small>	銀行借入
建物	198,787千円																																														
土地	745,525																																														
計	944,312																																														
1年内返済予定長期借入金	189,377千円																																														
長期借入金	299,590																																														
計	488,967																																														
保証先	金額（千円）	内容																																													
㈱岩手中京医薬品	30,364	銀行借入																																													
㈱ユナイテッドデザイン	1,036	銀行借入																																													
受取手形	22,380千円																																														
支払手形	143,824																																														
建物	189,191千円																																														
土地	745,525																																														
計	934,717																																														
1年内返済予定長期借入金	366,203千円																																														
長期借入金	780,887																																														
計	1,147,090																																														
保証先	金額（千円）	内容																																													
㈱岩手中京医薬品	21,268	銀行借入																																													
㈱ユナイテッドデザイン	2,072 <small>（債務保証損失引当金残高を除く）</small>	銀行借入																																													



（損益計算書関係）

前事業年度 （自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日）	当事業年度 （自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日）																																																									
<p>※1. 広告宣伝費、営業資材費等の費用に振り替えたものであります。</p> <p>※2. 固定資産処分損の内訳は、次のとおりで全額除却損であります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">建物</td> <td style="text-align: right;">110千円</td> </tr> <tr> <td>器具及び備品</td> <td style="text-align: right;">67</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">合計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">177</td> </tr> </table> <p>※3. 減損損失の内容は以下のとおりであります。 当会計期間において当社は以下の資産について減損損失を計上しました。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">場所</th> <th style="width: 30%;">用途</th> <th style="width: 40%;">種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長良川酵素工場 アクアマジック名古屋 名張営業所他 13営業所</td> <td rowspan="4">事業用資産</td> <td>建物</td> </tr> <tr> <td></td> <td>構築物</td> </tr> <tr> <td></td> <td>機械装置</td> </tr> <tr> <td></td> <td>器具及び備品</td> </tr> </tbody> </table> <p>当社は、資産を事業所ごとにグルーピングしております。</p> <p>事業用資産については、営業から生じる損益及び使用価値が継続してマイナスであり、資産グループの固定資産簿価を回収できないと判断した事業所及び営業所の統廃合等により資産グループの回収可能価額を著しく低下させる変化が生じる見込みである事業所について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失として特別損失に計上しております。</p> <p>その内訳は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">建物</td> <td style="text-align: right;">67,210千円</td> </tr> <tr> <td>構築物</td> <td style="text-align: right;">6,740</td> </tr> <tr> <td>機械装置</td> <td style="text-align: right;">2,504</td> </tr> <tr> <td>器具及び備品</td> <td style="text-align: right;">409</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">76,865</td> </tr> </table> <p>なお、当該資産の回収可能価額は、主として正味売却価額（0円）によっております。</p>	建物	110千円	器具及び備品	67	合計	177	場所	用途	種類	長良川酵素工場 アクアマジック名古屋 名張営業所他 13営業所	事業用資産	建物		構築物		機械装置		器具及び備品	建物	67,210千円	構築物	6,740	機械装置	2,504	器具及び備品	409	計	76,865	<p>※1. 広告宣伝費、営業資材費等の費用に振り替えたものであります。</p> <p>※2. 固定資産処分損の内訳は、次のとおりで全額除却損であります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">建物</td> <td style="text-align: right;">92千円</td> </tr> <tr> <td>構築物</td> <td style="text-align: right;">149</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">合計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">241</td> </tr> </table> <p>※3. 減損損失の内容は以下のとおりであります。 当会計期間において当社は以下の資産について減損損失を計上しました。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">場所</th> <th style="width: 30%;">用途</th> <th style="width: 40%;">種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長野営業所他 3営業所</td> <td rowspan="3">事業用資産</td> <td>建物</td> </tr> <tr> <td></td> <td>構築物</td> </tr> <tr> <td></td> <td>器具及び備品</td> </tr> <tr> <td>本社</td> <td>遊休資産</td> <td>電話加入権</td> </tr> </tbody> </table> <p>当社は、資産を事業所ごとにグルーピングしております。</p> <p>事業用資産については、営業から生じる損益及び使用価値が継続してマイナスであり、資産グループの固定資産簿価を回収できないと判断した事業所について帳簿価額を回収可能価額（0円）まで減額し、減損損失として特別損失に計上しております。</p> <p>また、電話加入権は現在遊休状態にあり、将来の使用見込みが定まっていないため回収可能価額まで減損処理しております。</p> <p>その内訳は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">建物</td> <td style="text-align: right;">456千円</td> </tr> <tr> <td>構築物</td> <td style="text-align: right;">170</td> </tr> <tr> <td>器具及び備品</td> <td style="text-align: right;">736</td> </tr> <tr> <td>電話加入権</td> <td style="text-align: right;">4,680</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">6,043</td> </tr> </table>	建物	92千円	構築物	149	合計	241	場所	用途	種類	長野営業所他 3営業所	事業用資産	建物		構築物		器具及び備品	本社	遊休資産	電話加入権	建物	456千円	構築物	170	器具及び備品	736	電話加入権	4,680	計	6,043
建物	110千円																																																									
器具及び備品	67																																																									
合計	177																																																									
場所	用途	種類																																																								
長良川酵素工場 アクアマジック名古屋 名張営業所他 13営業所	事業用資産	建物																																																								
		構築物																																																								
		機械装置																																																								
		器具及び備品																																																								
建物	67,210千円																																																									
構築物	6,740																																																									
機械装置	2,504																																																									
器具及び備品	409																																																									
計	76,865																																																									
建物	92千円																																																									
構築物	149																																																									
合計	241																																																									
場所	用途	種類																																																								
長野営業所他 3営業所	事業用資産	建物																																																								
		構築物																																																								
		器具及び備品																																																								
本社	遊休資産	電話加入権																																																								
建物	456千円																																																									
構築物	170																																																									
器具及び備品	736																																																									
電話加入権	4,680																																																									
計	6,043																																																									

（株主資本等変動計算書関係）

前事業年度（自平成18年4月1日 至平成19年3月31日）

自己株式の種類及び株式数に関する事項

	前事業年度末株式数（株）	当事業年度増加株式数（株）	当事業年度減少株式数（株）	当事業年度末株式数（株）
普通株式（注）	1,162,765	120,891	312	1,283,344
合計	1,162,765	120,891	312	1,283,344

（注）普通株式の自己株式の株式数の増加120,891株は株式分割による増加116,276株及び単元未満株式の買取による増加4,615株による増加であります。

普通株式の自己株式の株式数の減少312株は単元未満株式の売渡しによるものであります。

当事業年度（自平成19年4月1日 至平成20年3月31日）

自己株式の種類及び株式数に関する事項

	前事業年度末株式数（株）	当事業年度増加株式数（株）	当事業年度減少株式数（株）	当事業年度末株式数（株）
普通株式（注）	1,283,344	2,794	370	1,285,768
合計	1,283,344	2,794	370	1,285,768

（注）普通株式の自己株式の株式数の増加2,794株は単元未満株式の買取によるものであります。

普通株式の自己株式の株式数の減少370株は単元未満株式の売渡しによるものであります。

（リース取引関係）

前事業年度 （自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日）					当事業年度 （自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日）				
1. リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引					1. リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引				
(1) リース物件の取得価額相当額・減価償却累計額相当額及び期末残高相当額					(1) リース物件の取得価額相当額・減価償却累計額相当額及び期末残高相当額				
	有形固定資産		無形固定資産			有形固定資産		無形固定資産	
	(器具及び備品)	(機械装置他)	(ソフトウェア)	合計		(器具及び備品)	(機械装置他)	(ソフトウェア)	合計
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)		(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
取得価額相当額	224,697	72,355	199,789	496,842	取得価額相当額	273,980	104,355	137,058	515,394
減価償却累計額相当額	131,602	28,838	112,122	272,564	減価償却累計額相当額	148,957	43,206	98,919	291,083
期末残高相当額	93,094	43,516	87,666	224,278	期末残高相当額	125,023	61,149	38,138	224,310
(2) 未経過リース料期末残高相当額					(2) 未経過リース料期末残高相当額				
	1年内		82,949千円			1年内		73,753千円	
	1年超		144,823			1年超		153,964	
	合計		227,773			合計		227,717	
(3) 当期の支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額					(3) 当期の支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額				
	支払リース料		104,744千円			支払リース料		104,112千円	
	減価償却費相当額		98,421			減価償却費相当額		98,597	
	支払利息相当額		5,781			支払利息相当額		5,663	
(4) 減価償却費相当額の算定方法					(4) 減価償却費相当額の算定方法				
リース期間を耐用年数、残存価額を零とする定額法によっております。					同左				
(5) 利息相当額の算定方法					(5) 利息相当額の算定方法				
リース料総額とリース物件の取得価額相当額との差額を利息相当額とし、各期への配分方法については、利息法によっております。					同左				
2. オペレーティング・リース取引					2. オペレーティング・リース取引				
未経過リース料					未経過リース料				
	1年内		52,920千円			1年内		17,465千円	
	1年超		22,990			1年超		5,570	
	合計		75,910			合計		23,035	

（有価証券関係）

前事業年度（自平成18年4月1日 至平成19年3月31日）  
 子会社株式及び関連会社株式で時価のあるものはありません。

当事業年度（自平成19年4月1日 至平成20年3月31日）  
 子会社株式及び関連会社株式で時価のあるものはありません。

（税効果会計関係）

前事業年度 (平成19年3月31日)	当事業年度 (平成20年3月31日)																																																																																								
<p>(1) 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別内訳</p> <p>(繰延税金資産)</p> <p>① 流動の部</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">未払事業税等</td> <td style="text-align: right;">7,096千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">賞与引当金</td> <td style="text-align: right;">49,815</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">その他</td> <td style="text-align: right;">15,949</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">72,860</td> </tr> </table> <p>② 固定の部</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">退職給付引当金</td> <td style="text-align: right;">19,265千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">貸倒引当金</td> <td style="text-align: right;">16,297</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">貸倒損失否認</td> <td style="text-align: right;">331</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">減損損失</td> <td style="text-align: right;">131,757</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">その他</td> <td style="text-align: right;">19,499</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">評価性引当額</td> <td style="text-align: right;">△147,736</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">繰延税金負債（固定）との相殺</td> <td style="text-align: right;">△18,390</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">21,025</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">繰延税金資産合計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">93,886</td> </tr> </table> <p>(繰延税金負債)</p> <p>① 流動の部</p> <p>② 固定の部</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">その他有価証券評価差額金</td> <td style="text-align: right;">△18,390千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">繰延税金資産（固定）との相殺</td> <td style="text-align: right;">18,390</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">繰延税金負債合計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">-</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">差引：繰延税金資産の純額</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">93,886</td> </tr> </table> <p>(2) 法定実効税率と税効果会計適用後法人税等の負担率との差異の項目別内訳</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">法定実効税率</td> <td style="text-align: right;">40.5%</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(調整)</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">・交際費等社外流出の負担率</td> <td style="text-align: right;">8.3%</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">・住民税均等割等負担率</td> <td style="text-align: right;">10.8</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">・評価性引当額</td> <td style="text-align: right;">52.4</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">・その他</td> <td style="text-align: right;">△2.0</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">税効果会計適用後の法人税等の負担率</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">110.0%</td> </tr> </table>	未払事業税等	7,096千円	賞与引当金	49,815	その他	15,949	計	72,860	退職給付引当金	19,265千円	貸倒引当金	16,297	貸倒損失否認	331	減損損失	131,757	その他	19,499	評価性引当額	△147,736	繰延税金負債（固定）との相殺	△18,390	計	21,025	繰延税金資産合計	93,886	その他有価証券評価差額金	△18,390千円	繰延税金資産（固定）との相殺	18,390	繰延税金負債合計	-	差引：繰延税金資産の純額	93,886	法定実効税率	40.5%	(調整)		・交際費等社外流出の負担率	8.3%	・住民税均等割等負担率	10.8	・評価性引当額	52.4	・その他	△2.0	税効果会計適用後の法人税等の負担率	110.0%	<p>(1) 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別内訳</p> <p>(繰延税金資産)</p> <p>① 流動の部</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">未払事業税等</td> <td style="text-align: right;">9,819千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">賞与引当金</td> <td style="text-align: right;">83,430</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">商品評価減</td> <td style="text-align: right;">30,528</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">その他</td> <td style="text-align: right;">11,564</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">評価性引当額</td> <td style="text-align: right;">△4,674</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">130,668</td> </tr> </table> <p>② 固定の部</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">退職給付引当金</td> <td style="text-align: right;">19,856千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">役員退職慰労引当金</td> <td style="text-align: right;">131,134</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">貸倒引当金</td> <td style="text-align: right;">15,065</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">貸倒損失否認</td> <td style="text-align: right;">135</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">減損損失</td> <td style="text-align: right;">123,549</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">その他</td> <td style="text-align: right;">27,834</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">評価性引当額</td> <td style="text-align: right;">△278,571</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">繰延税金負債（固定）との相殺</td> <td style="text-align: right;">△7,128</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">31,876</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">繰延税金資産合計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">162,544</td> </tr> </table> <p>(繰延税金負債)</p> <p>① 流動の部</p> <p>② 固定の部</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">その他有価証券評価差額金</td> <td style="text-align: right;">△7,128千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">繰延税金資産（固定）との相殺</td> <td style="text-align: right;">7,128</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">繰延税金負債合計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">-</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">差引：繰延税金資産の純額</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">162,544</td> </tr> </table> <p>(2) 法定実効税率と税効果会計適用後法人税等の負担率との差異の項目別内訳</p> <p style="padding-left: 20px;">税引前当期純損失を計上しているため、記載を省略しております。</p>	未払事業税等	9,819千円	賞与引当金	83,430	商品評価減	30,528	その他	11,564	評価性引当額	△4,674	計	130,668	退職給付引当金	19,856千円	役員退職慰労引当金	131,134	貸倒引当金	15,065	貸倒損失否認	135	減損損失	123,549	その他	27,834	評価性引当額	△278,571	繰延税金負債（固定）との相殺	△7,128	計	31,876	繰延税金資産合計	162,544	その他有価証券評価差額金	△7,128千円	繰延税金資産（固定）との相殺	7,128	繰延税金負債合計	-	差引：繰延税金資産の純額	162,544
未払事業税等	7,096千円																																																																																								
賞与引当金	49,815																																																																																								
その他	15,949																																																																																								
計	72,860																																																																																								
退職給付引当金	19,265千円																																																																																								
貸倒引当金	16,297																																																																																								
貸倒損失否認	331																																																																																								
減損損失	131,757																																																																																								
その他	19,499																																																																																								
評価性引当額	△147,736																																																																																								
繰延税金負債（固定）との相殺	△18,390																																																																																								
計	21,025																																																																																								
繰延税金資産合計	93,886																																																																																								
その他有価証券評価差額金	△18,390千円																																																																																								
繰延税金資産（固定）との相殺	18,390																																																																																								
繰延税金負債合計	-																																																																																								
差引：繰延税金資産の純額	93,886																																																																																								
法定実効税率	40.5%																																																																																								
(調整)																																																																																									
・交際費等社外流出の負担率	8.3%																																																																																								
・住民税均等割等負担率	10.8																																																																																								
・評価性引当額	52.4																																																																																								
・その他	△2.0																																																																																								
税効果会計適用後の法人税等の負担率	110.0%																																																																																								
未払事業税等	9,819千円																																																																																								
賞与引当金	83,430																																																																																								
商品評価減	30,528																																																																																								
その他	11,564																																																																																								
評価性引当額	△4,674																																																																																								
計	130,668																																																																																								
退職給付引当金	19,856千円																																																																																								
役員退職慰労引当金	131,134																																																																																								
貸倒引当金	15,065																																																																																								
貸倒損失否認	135																																																																																								
減損損失	123,549																																																																																								
その他	27,834																																																																																								
評価性引当額	△278,571																																																																																								
繰延税金負債（固定）との相殺	△7,128																																																																																								
計	31,876																																																																																								
繰延税金資産合計	162,544																																																																																								
その他有価証券評価差額金	△7,128千円																																																																																								
繰延税金資産（固定）との相殺	7,128																																																																																								
繰延税金負債合計	-																																																																																								
差引：繰延税金資産の純額	162,544																																																																																								

（1株当たり情報）

前事業年度 （自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日）		当事業年度 （自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日）	
1株当たり純資産額	245.70円	1株当たり純資産額	211.52円
1株当たり当期純損失	1.62円	1株当たり当期純損失	27.51円
<p>なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、当期純損失を計上しており、また潜在株式が存在しないため記載しておりません。</p> <p>当社は、平成18年4月1日付で株式1株につき1.1株の株式分割を行っております。</p> <p>なお、当該株式分割が前期首に行われたと仮定した場合の前事業年度における1株当たり情報については、以下のとおりとなります。</p>		<p>なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、当期純損失を計上しており、また潜在株式が存在しないため記載しておりません。</p>	
1株当たり純資産額	268.80円		
1株当たり当期純利益金額	4.76円		

（注）1株当たり当期純利益金額又は当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 （自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日）	当事業年度 （自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日）
当期純利益又は当期純損失（△）（千円）	△16,330	△277,904
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る当期純利益又は当期純損失（△）（千円）	△16,330	△277,904
期中平均株式数（千株）	10,100	10,101
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

## 6. その他

### (1) 役員の変動

#### ①代表取締役の変動

該当事項はありません

#### ②その他の役員の変動

退任予定監査役

（常勤）監査役 秋本 實

新任監査役候補

（非常勤）監査役 吉田和永

吉田和永氏は会社法第2条第16号に規定する社外監査役であります。

#### ③就任予定日

平成20年6月24日

(2) その他

(1) 品目別売上高

(単位：千円)

区分		前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)		当連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)		比較増減	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
配置品等	常備配置薬	1,073,877	13.2	977,824	12.1	△96,052	△8.9
	保健品	2,712,908	33.2	2,958,047	36.5	245,138	9.0
	ドリンク	1,369,985	16.8	1,586,084	19.6	216,099	15.8
	小計	5,156,771	63.2	5,521,956	68.2	365,185	7.1
医療品		371,424	4.5	408,110	5.0	36,685	9.9
日用雑貨		390,683	4.8	442,942	5.5	52,258	13.4
生活流通・宝飾その他		1,660,849	20.4	1,269,671	15.6	△391,178	△23.6
計		7,579,728	92.9	7,642,681	94.3	62,952	0.8
売水事業		298,200	3.7	372,401	4.6	74,200	24.9
環境事業		93,519	1.1	12,337	0.1	△81,181	△86.8
受取手数料他		186,079	2.3	83,936	1.0	△102,143	△54.9
合計		8,157,528	100.0	8,111,356	100.0	△46,171	△0.6

(2) 部門別売上高

(単位：千円)

区分		前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)		当連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)		比較増減	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
小売部門		6,001,298	73.6	6,403,863	78.9	402,565	6.7
卸売	F C部門	211,638	2.6	150,214	1.9	△61,424	△29.0
	一般流通部門	1,366,791	16.7	1,088,603	13.4	△278,188	△20.4
	小計	1,578,430	19.3	1,238,817	15.3	△339,613	△21.5
売水事業部門		298,200	3.7	372,401	4.6	74,200	24.9
環境事業部門		93,519	1.1	12,337	0.2	△81,181	△86.8
保険事業部門・その他		186,079	2.3	83,936	1.0	△102,143	△54.9
合計		8,157,528	100.0	8,111,356	100.0	△46,171	△0.6